

第2次北見市社会教育計画
に係る
令和元年度事業
点検・評価表

北見市教育委員会

目次

I 自ら学び成果を活かす社会教育活動の推進	
1. 多様な学習機会の充実	
(1) 生活課題や地域課題に対応した学習機会の提供	… 2
(2) 多様化・高度化する学習ニーズに対応する学習機会の提供	… 6
(3) 生涯学習社会を支える公民館・図書館 活動の推進	… 8
(4) 高齢者の学習支援	… 16
II 学校・家庭・地域が連携し子どもを育てる環境づくりの推進	
1. 家庭・地域教育の推進	
(1) 家庭の教育力向上支援	… 18
(2) 親子関係を豊かにする学習機会の充実	… 20
2. 青少年教育の推進	
(1) 豊かな体験学習機会の提供	… 22
(2) 異年齢交流やボランティア活動への参加奨励	… 24
III 健康づくりと競技力向上や地域に根ざしたスポーツ活動の推進	
1. スポーツ活動の推進	
(1) 生涯スポーツの振興	… 26
(2) 競技スポーツの振興	… 34
(3) スポーツと地域振興	… 38
IV 歴史と風土に根ざし次世代につなげる地域文化活動の推進	
1. 芸術・文化活動の推進	
(1) 芸術・文化活動を支援する体制の整備	… 40
(2) 芸術・文化活動に参加できる機会の提供	… 42
(3) 芸術鑑賞機会の充実	… 46
(4) 地域の伝統文化の継承	… 50
2. 歴史と自然の保護活動の推進	
(1) 文化遺産の啓発	… 52
(2) 文化遺産の保存と活用	… 58
V 社会教育を充実させる学習環境づくりの推進	
1. 社会教育施設の充実	
(1) 社会教育施設的环境整備	… 60
(2) 社会教育施設の管理運営体制の充実	… 64
(3) 社会教育施設機能の充実	… 68
2. 社会教育推進体制の整備	
(1) 委員会審議会等の活動の充実	… 70
(2) 専門職員等の資質向上を目指す研修機会の充実	… 74
(3) 社会教育指導者や社会教育団体の育成支援と活用	… 76
(4) 各種社会教育ボランティア活動の支援	… 80
(5) 社会教育推進体制強化のための関係団体との協働	… 82

※ 評価方法～ 各課・館が所管する事業において、「チェック項目」および、「評価」に下記のとおり評価がつけられています。

◎	目標は充分達成されている。 (達成率:80%以上)	△	目標達成には不十分。 (課題・問題点が多い等) (達成率:49%以下)
○	目標は概ね達成されている。 (まだ努力を要する課題がある。) (達成率:50～79%)	—	事業実施なし。

I 自ら学び成果を活かす社会教育活動の推進

1. 多様な学習機会の充実

(1) 生活課題や地域課題に対応した学習機会の提供

各種学級・講座等の開催

事業名	事業主旨	H31(R1)実績
まなび学級	生活上の課題等について、一定期間、計画的・継続的に学習する集団・グループを支援する。	11学級 80講座 延べ1,847人
市民大学講座	自己啓発と生涯学習の場として開催し、市民の学習要求の充足を図る。	5/8 ~7/3 市民会館 小ホール 芸術文化ホール 中ホール 全5講座 入場者279人
出前講座 「ミント宅配便」	(行政編) 市民等の団体が主催する学習会等に市職員が講師となり、市政の説明、専門知識を生かした実習等を行うことにより、市民の行政に関する意識啓発を図る。 (市民編) 市民等の団体が主催する学習会等に市民が講師となり、自ら培った特技・経験を生かし、講話や実技を行い、自主的に学習していく意識を高める。	【行政編】 171講座 延べ 4,775人 【市民編】 237講座 延べ 6,096人

講演会、生涯学習セミナー等の開催

事業名	事業主旨	H31(R1)実績
生涯学習セミナー	現代的課題について市民に広く啓蒙するとともに、生涯学習をより理解してもらう場の提供を行う。	①8/31 市民会館小ホール 参加 130人 ②9/15 市民会館小ホール 参加 40人
教育講演会	市民への学習機会の提供事業として実施。家庭教育の機能充実及び、それぞれのライフステージにおける生きがいづくりを促進する。	①12/14 中央図書館 多目的視聴覚室 参加 44人 ②1/18 オホーツク木のプラザ 研修室 参加 23人
2019 つどいinきたみ	女性国内研修参加者及び一般市民公募による実行委員会を中心として、市民主体の学びの場を企画実施する。	未実施

チェック項目		事業の成果	事業の課題	担当課
継続的な学習活動となっているか	◎	各種課題について計画的に自主学習に取り組み、昨年度同様継続的な学習姿勢が各団体に見られた。	新規団体登録に向けた継続的な周知活動が必要。	生涯学習課
課題解決をめざす学習内容となっているか	◎			
自主学習サークルの育成は図られているか	◎			
市民に広く周知されているか	○	広報きたみ・各報道機関をはじめSNSを活用した市民周知を行った。市内をはじめ全国及び世界で活躍する講師による魅力的な講座内容となった。	高齢層の参加が多数を占めているため若年層への浸透が課題。	
参加者が増加しているか	△			
市民の学習要求に応じた内容であったか	◎			
講座の開催数は増えているか	◎	講座開催数は過去最高となり、市民の本事業に対する認知度は高まっているといえる。市民講師の数は、新規登録5人となった。	身近な場所で開催することができる本事業は、利用件数も増加しており、生涯学習に対する意識の高まりがみられる。今後更に幅広いニーズに対応するため、北見自治区における講師の発掘もさることながら、常呂、端野、留辺蘂自治区においても、引き続き新規登録の市民講師の発掘に努める。	
開催団体の広がりがあるか	◎			
市民に広く周知されているか	◎			
市民講師数が増加しているか	◎			

チェック項目		事業の成果	事業の課題	担当課
市民に広く周知されているか	◎	①「みんなの学校」上映会を開催。 ②大阪市大空小学校初代校長 木村 泰子氏を迎え、ワークショップを開催。	生涯学習に関するセミナーの内容の設置と、適切な講演者の選定が難しい。	生涯学習課
市民の学習要求に応じた内容であったか	◎			
市民に広く周知されているか	○	①「食べる力～嚥下障がいについて考える～」として「食べる力・円」代表 橋田祐理子氏を講師に迎え、飲み込む力の衰えによって引き起こされる嚥下障がいの危険性と防止策についての講演会を開催。 ②「誰でも使える！描いて学ぶ楽しいコミュニケーション術～マインドマップを使って～」として野上こうこ氏を講師に迎え、ワークショップ形式の記憶整理方法についての講演会を開催。	講演内容として多様なジャンルの選定が必要。	
市民の学習要求に応える内容であったか	◎			
参加者が増加しているか	○			
参加者の相互交流が図られる内容だったか	-	テーマ《2019つどいinきたみ 知ってる？知らない？SNS》の開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。	実行委員公募者が少ないため更なる周知を図る。	
実行委員の主体的活動が図られたか	-			
市民に周知されているか	-			

事業名	事業主旨	H31(R1)実績
生涯学習講演会	人づくりやまちづくり、住民協働への意識高揚と生涯学習の推進を図る。	1/19 公民館 グリーンホール 144人
るべしベ夢華大学	学生が希望する各種のテーマを学習するとともに、異業種交流を図る。	9回 171人

生涯学習コーナーの活用(学習相談)

事業名	事業主旨	H31(R1)実績
生涯学習コーナーの有効利用	生涯学習情報の収集と提供を通して、市民の生涯学習への取り組みをサポートするため、情報誌や図書の閲覧スペースを確保し、有効な運用に努める。	来訪者数 延べ 4,370人
生涯学習相談事業	生涯学習を促進・援助する相談事業を生涯学習推進員を中心に進める。	53件受理
		1件(端野)
		4件(常呂)
		1件(留辺蘂)

情報提供事業の実施

事業名	事業主旨	H31(R1)実績
生涯学習情報提供システム	北見市内の生涯学習情報を収集・整理し、北見市生涯学習情報提供システムのデータベース化を図る。さらに、ホームページ等の活用により市民への学習情報の収集・提供の促進を図る。	市HP掲載数 団体560団体 指導者256人
情報提供事業(生涯学習カレンダーの発行)	社会教育に関する情報発信。	毎月1回 自治区内全戸配布
生涯学習ガイドの発行	常呂自治区内で活動する団体やサークル活動情報を掲載し市民へ周知する。	6月発行 自治区内全戸配布
生涯学習情報紙の発行「ふっくらポケット」	常呂自治区に関連する社会教育事業を掲載し市民へ周知する。	毎月1回 自治区内全戸配布
社会教育情報紙の発行「ふれあい伝言板」	公民館・図書館や、社会教育団体等の情報を提供するため、定期的に情報紙を発行する。	毎月1回 自治区内全戸配布

チェック項目		事業の成果	事業の課題	担当課
人づくりまちづくりに繋がる内容であったか	◎	フリーアナウンサー宮本隆治氏を講師に「ゆとり・ユーモア・帰りは元気」と題し講演を開催し、生涯学習の推進が図られた。	まちづくり推進大会と共催してその効果を高めているが、講演講師及びその内容の充実が求められている。	端野 生涯学習課
住民協働の意識が高まる内容であったか	◎			
生涯学習が推進されているか	◎			
学習効果が得られているか	○	大学の参加者が興味のあるテーマを学び続けることで学習意欲を高め、様々な講師を招いて知識を得るなど、有意義な活動となっている。	入学資格は18歳以上だが、在籍している学生は50～60歳代が多く、若い学生がいない。	留辺薬 生涯学習課
異業種交流が図られているか	○			

チェック項目		事業の成果	事業の課題	担当課
広く市民に周知されているか	○	ミント宅配便の相談・受付やスポーツ施設の利用受付など、市民に有効利用されている。	芸文センターとの間で開館時間の検討・調整が必要である。	生涯学習課
利用件数が増加しているか	○			
相談者の満足は得られているか	○	生涯学習推進員が生涯学習全般に及び窓口として、機能している。	幅広く、市民の生涯学習の手助けができるよう、更なる周知が必要である。	生涯学習課
市民に広く周知されているか	○			
住民からのニーズがあるか	△	相談件数は多くないが、生涯学習推進員を配置し、体制を整えている。	市民の皆さんに活用していただくためにも重ねての市民周知が必要である。このような取り組みは地道ではあるが、継続して体制づくりを整えておく必要がある。	端野 生涯学習課
住民が満足する体制となっているか	○			
相談件数は増えているか	○	生涯学習推進員を配置し、体制を整えている。	事業の周知は継続して行い、市民(常呂自治区)の生涯学習への関心を高めることが必要。	常呂 生涯学習課
常呂自治区に広く周知されているか	○			
相談件数は増えているか	△	相談件数は多くないが、生涯学習推進員を配置し、体制を整えている。	幅広い市民周知が必要である。	留辺薬 生涯学習課
市民に広く周知されているか	○			

チェック項目		事業の成果	事業の課題	担当課
新規登録情報が増えているか	○	生涯学習情報提供システムのデータベース化により、情報は提供されている。	ホームページ等の活用について、分かりやすい市民周知の検討が必要。	生涯学習課
市民に広く周知されているか	○			
市民に広く周知されているか	○	英語指導助手のコラム、行事紹介等掲載している。	役立つ情報の提供と読みやすい紙面づくりを心掛け継続する。	端野 生涯学習課
その情報が活用されているか	○			
ガイドの発行数は十分であるか	○	市民(常呂自治区)に対し、年1回広報への折込みにより配布。興味を持たれる方に対し、関連するサークルなどの連絡先を含め常呂自治区の団体活動情報を提供できた。	情報の提供は必要であり、継続する。	常呂 生涯学習課
見やすい内容となっているか	○			
情報紙の発行数は十分であるか	○	常呂自治区の社会教育事業などの情報を掲載し、市民(常呂自治区)へ周知することができた。	情報の提供は必要であり、継続する。	
見やすい内容となっているか	○			
市民に広く周知されているか	○	「広報きたみ」に折り込むことで、市民に広く周知されている。 社会教育の情報源として重要な役割を果たしており、効果も大きい。	市民にとって役立つ社会教育情報を提供し、読みやすいような紙面作りを心がける。	留辺薬 生涯学習課
情報提供の効果があるか	○			

I 自ら学び成果を活かす社会教育活動の推進

1. 多様な学習機会の充実

(2) 多様化・高度化する学習ニーズに対応する学習機会の提供

リカレント教育、ノーマライゼーション教育等多様な学習機会の提供

事業名	事業主旨	H31(R1)実績
放送大学 北見学習室の活用	市民への高等教育を受ける機会の提供として放送大学北見学習室の活用を促進する。	視聴者数4人 貸出枚数86枚
ノーマライゼーション 講演会等の開催	障がい者の学習参加や社会参加への支援及び連携に関する学習機会を提供する。	12/14 中央図書館 多目的視聴覚室 参加 44人
東京大学文学部 公開講座	東京大学文学部の教授が講師となる公開講座を開催することで、市民の学習機会を提供する。	10月4日 常呂高等学校 常呂町公民館 106人

チェック項目		事業の成果	事業の課題	担当課
市民に広く周知されているか	○	放送大学の学生により有効利用されている。	インターネットやCS放送等の自宅で学習できる環境が整いつつあり、利用者が減少していることから、学生に向けて利用の周知を図る必要がある。	生涯学習課 中央図書館
学生数の増加が図られているか	△			
学習教材の利用は増えているか	○			
社会福祉関係団体等との連携・協力体制が図られているか	◎	北見身体障害者福祉協会と共催し「食べる力～嚥下障がいについて考える～」をテーマに教育講演会を開催した。	各団体等との情報共有を図り、市民の学習要求に答える。	生涯学習課
講演内容に多様性が図られているか	○	平成12年度から23回の開催を重ねてきており、東京大学文学部の中でも様々な分野の教授による講座を開催し、市民への学習機会を提供できた。	東京大学文学部との協力のもと、貴重な生涯学習の場を提供するため継続して実施する。	常呂 生涯学習課
市民に広く周知されているか	○			

I 自ら学び成果を活かす社会教育活動の推進

1. 多様な学習機会の充実

(3)生涯学習社会を支える公民館・図書館活動の推進

公民館事業の充実

事業名	事業主旨	H31(R1)実績
市民学園・短期講座	生活文化・教養向上と健康増進を図るため、体験的な内容の学習機会を提供する。	【第1期】 3講座 35回 延べ 409人 【第2期】 6講座 65回 延べ 536人
市民学園・長期講座	生活文化・教養向上と健康増進を図るため、基礎的な内容から中級程度まで習熟度を高める体系的な学習機会を提供する。	【第1期】 14講座 168回 延べ 1,776人 【第2期】 12講座 144回 延べ 1,407人
移動公民館講座	公民館講座に接する機会の少ない地域住民に対し、生活文化・教養向上と健康増進を図るため、学習機会を提供する。	7講座 41回 延べ 390人
吟行会	短歌・俳句・川柳愛好者の作品作りのモチーフを提供し、創作活動の活性化と文化の向上を図る。	津別町 12人
新春文芸大会	文芸愛好者の作品発表の場を設け、文芸文化の向上を図る。	川柳: 40句20人 短歌: 12首12人 俳句: 102句56人 延べ88人
各種公民館講座	地域住民の交流・親睦を深めるとともに、地域や家庭生活の課題解決や文化活動の推進を図る。	4講座 22回 延べ 179人
		【子ども陶芸】 2回29人 【子ども書初め大会】 2回17人 【そば打ち体験】 2回18人 【縫わずに作る「がま口・ペンケース・メガネケース」】 2回15人
		2講座6回 69人
		17講座 95回 延べ560人

チェック項目		事業の成果	事業の課題	担当課
市民に広く周知されているか	○	市ホームページや市内報道機関等への広報を通じ周知しており、例年安定して、リピーターを集約する結果となっている。	講座により、受講者数にばらつきがあるが、受講者数の少ない講座については、講座の変更等も含め検討していく必要がある。	中央公民館
講座数(種類)は充実しているか	○			
受講者数は目標人数に達しているか	○			
市民に広く周知されているか	○	市ホームページや市内報道機関等への広報を通じ周知しており、アンケートにおいても好評で、リピーターも多い結果となっている。	講座により、受講者数にばらつきがあるが、受講者数の少ない講座については、講座の変更等も含め検討していく必要がある。	
講座数(種類)が充実しているか	○			
受講者数は目標人数に達しているか	○			
市民に広く周知されているか	○	5地域において7講座を開催し、講座を通じ当該地域住民の生活向上と地域社会作りにも努めた。	同一講座が長年続いている地域もあることから、地域の意見集約のため、自治会等との協議が必要である。	
講座数(種類)が充実しているか	○			
受講者数は目標人数に達しているか	○			
参加者数は増加しているか	△	年度当初の文芸関係者会議において、行先が津別に決まり、参加者が減少してしまったが、参加者は作品作りにおいて大切な情景を感じることができていた。	毎年吟行場所の希望を募り実施してきたが、参加者の高齢化のため、気軽に参加しやすい行程を検討する必要がある。	
創作活動の活性化が図られているか	◎			
文化の向上が図られているか	◎			
参加者数は増加しているか	○	文芸愛好者から多くの投句・投首があり、文芸文化の向上に寄与した。	各会員以外の一般参加者数が少ないので、参加者の増加に努める必要がある。	
市民に広く周知されているか	○			
市民に広く周知されているか	○	受講者アンケートにおいても好評であり、文化活動の推進が図られた。	参加者が多い講座については、市民学園・短期講座として行うといった市民のニーズに答える必要がある。	
参加者数は目標人数に達しているか	○			
住民ニーズに則しているか	◎	夏休みの課題学習とも相まって、参加した子どもたちに手作りの楽しさやモノ作りの難しさや書道にふれあい伝統行事の大切さを知ることができた。そば打ち・がま口ペンケース教室は、定員には達しなかったが、参加者からは好評を得た。	今後更に、量・質共に充実させることが必要である。	端野町公民館
受講者数は目標人数に達しているか	○			
受講者の満足は得られているか	◎			
講座の開設数は足りているか	○	バランスボールやストレッチなど体を使う講座を実施した。年齢層の幅広い参加となり、各年代に受け入れられた講座内容であった。	自治区市民のニーズに合わせて、様々な講座内容により継続して実施する。	常呂町公民館
受講者の満足は得られているか	○			
受講者が増加しているか	◎	新規の受講者もあり、全体的に前年度を上回る受講者数だったため、参加者の満足度も高く、文化活動の推進が図られた。	今後も市民のニーズを把握しながら新しい公民館講座の開設に努める。	留辺蘂町公民館
受講者の満足は得られているか	◎			

図書館サービスの充実

事業名	事業主旨	H31(R1)実績
児童文学者講演会	実行委員会を組織し、著名な児童文学者の講演会を実施。市民に児童文学に触れる機会を提供する。	6/30 150人
図書館まつり(中央)	実行委員会を組織し、古本市など各種催し物により市民が図書館を知るきっかけづくりとして実施する。	9/29 3,200人
図書館まつり(端野)	実行委員会を組織し、古本市など各種催し物により市民が図書館を知るきっかけづくりとして実施し利用促進につなげる。	8/31 200人
図書館まつり(留辺蘂)	実行委員会を組織し、古本市など各種催し物により市民が図書館を知るきっかけづくりとして実施し利用促進につなげる。	8/17・24・25 延べ530人
リサイクル古本市	資料の市民還元や図書館を知るきっかけづくりとして実施し利用促進につなげる。	12月10日
図書館講座・講演会	各種講座・講演会を通して、図書館での学習活動を支援する。市内各団体と協力して事業の充実を図る。	7/21 130人
		成人対象 11/20・11/27・12/4 14人 児童対象 8/7 2人
		昭和初期～20年頃までの常呂村市街地図の完成に伴う、常呂の昭和20年を語り合う会 9/20 7人
		夏休みの工作教室 8/8 14人 お仕事体験 8/9 1人 冬休み工作教室 1/5 13人
		図書館読者講座 8/3 35人

チェック項目		事業の成果	事業の課題	担当課
市民に広く周知されているか	◎	参加者が楽しめる講演会となり児童文学に対する啓発が図られた。	今後も参加者が満足する講演会を実施する。	中央図書館
参加者の満足は得られているか	◎			
市民の満足は得られているか	◎	様々な催物を実施し、図書館を利用していない市民へのPRにもなった。	今後もボランティア団体と協力し、市民が楽しめる図書館まつりを実施する。	
ボランティアとの連携は十分に図られているか	◎			
催し物の内容の充実が図られているか	◎			
図書館の利用促進が図られているか	◎	各種行事をきっかけとして、普段利用しない市民が図書館へ足を運ぶ機会を提供することができた。	今後も図書館を身近に感じてもらえるよう内容について検討し、充実させる。	端野図書館
図書館や読書に対して興味や関心を持つ機会づくりとなっているか	◎			
ボランティアとの連携は十分に図られているか	◎			
図書館の利用促進が図られているか	◎	図書館まつりの実施により、普段利用しない市民が図書館へ足を運ぶ機会を提供することができた。	今後も図書館を楽しんでもらえる内容を検討し、実施する。	留辺薬図書館
図書館未利用者へ働きかけが行われているか	◎			
図書館利用促進に図られているか	○	図書館周知に繋がっている	図書館をより身近に感じてもらえるよう、周知方法等を検討する。	常呂図書館
参加者の満足は得られているか	◎	開館4周年記念講演会を実施し、図書館での学習活動を支援できた。	今後も参加者が満足する講演会を実施し、図書館での学習活動を支援する。	中央図書館
図書館や読書への興味・関心を持つきっかけになっているか	◎			
参加者の満足は得られているか	◎	成人対象「手づくり布の絵本教室」児童対象「としょかんで調べよう」講座を開催し読書の啓蒙を図ることができた。	今後も、関心・興味を持ってもらえるような講座を考案する。	端野図書館
図書館や読書に対して興味や関心を持つ機会づくりとなっているか	○			
図書館への関心・興味のきっかけとなっているか	○	市民サークル「常呂村街並調査隊」の協力により完成した常呂村市街地図を材料に、終戦前後の常呂村の生活状況の掘り起こしを行った	今後とも市民の読書推進につながるように検討し、内容を充実する。	常呂図書館
図書館への関心・興味のきっかけとなっているか	◎	夏休みを冬休みの実施により、普段利用しない子どもたちが図書館へ足を運ぶ機会を提供することができた。	今後も、関心・興味を持ってもらえるような講座を考案する。	留辺薬図書館
参加者が増加しているか	○			
参加者の満足は得られているか	◎	絵本作家 長谷川知子講演会を開催し、図書館の利用促進につなげた。	今後も参加者が満足する講演会を実施する。	
図書館や読書への興味・関心を持つきっかけになっているか	◎			

事業名	事業主旨	H31(R1)実績
移動図書館車の運行	地域全域をカバーする手段として、移動図書館車を運行し、貸出を通して来館困難な子どもたちや地域住民への資料提供を図る。	運行日数 77日 貸出冊数 9,135冊
		運行日数 93日 貸出冊数 5,160冊
		運行日数126日 貸出冊数 10,082冊
図書館 企画展示コーナー	時事・生活・季節など年間を通してテーマ毎の資料展示コーナーを設け、図書館資料の提供と図書館利用の関心を高める。	児童書・一般書 各月1回
		児童・一般展示・ カウンター前展示 (各6回)
		絵本・一般書 各月1回 ドラマ・映画作品本 随時
		絵本・一般書等計4か所 各月1回 企画展示 年1回
団体貸出事業	小学校・保育所等各施設への団体貸出を通して、読書環境の整備を図る。	41,227冊
		6,552冊
		5,327冊
		6,991冊

チェック項目		事業の成果	事業の課題	担当課
読書活動の促進が図られているか	◎	運行に合わせて積載図書の新規入れ替えを行い、読書要求に応じた資料提供を実施した	今後も利用者の読書要求に応じた資料を積載することに努め児童の読書環境の整備を図る。	端野図書館
図書館サービスの向上が図られているか	◎			
読書活動の促進が図られているか	○	積載図書の入れ替え等の工夫を行い、利用者のニーズに合わせた資料の提供を実施した。	今後も利用者のニーズに応じた新鮮な本を載せていくことにより、利用者増につなげる。	常呂図書館
図書館サービスの向上が図られているか	○			
読書活動の促進が図られているか	◎	毎月、新着図書の入れ替えを行い、読書要求に応じた資料提供を実施した。	今後も利用者のニーズを考え、新鮮な本を載せていくことにより、利用者増につなげる。	留辺薬図書館
図書館サービスの向上が図られているか	○			
利用者・貸出冊数の増加となっているか	◎	毎月テーマを決めた展示のほか、新刊案内などを行っており、市民の関心・興味へのきっかけとなっている。	市民の興味深いテーマを考え、利用増・貸出増につなげていきたい。	中央図書館
図書館への関心・興味のきっかけとなっているか	◎			
利用者・貸出冊数の増加となっているか	◎	テーマを決めた展示を行うことにより、市民の関心・興味のきっかけとなっている。	利用者の関心・興味を引くテーマの展示コーナーを設置・周知することにより、図書館の利用促進につながる取り組みを継続する。	端野図書館
図書館への関心・興味のきっかけとなっているか	◎			
利用者・貸出冊数の増加となっているか	○	利用者の目に触れる機会を増やし、住民の関心が高まるように努めている。	今後も、利用者の関心・興味をひくテーマで展示を行い、利用者増につなげる。	常呂図書館
図書館への関心・興味のきっかけとなっているか	○			
利用者・貸出冊数の増加となっているか	○	毎月テーマを決めた展示のほか、企画展示を行い、市民の関心・興味のきっかけとなっている。	今後も、利用者の関心・興味をひくテーマで展示を行い、利用者増につなげる。	留辺薬図書館
図書館への関心・興味のきっかけとなっているか	○			
利用者・貸出冊数の増加となっているか	◎	小学校・保育園・児童館などに団体貸出をおこなっており、利用団体の幅は広がっている。	今後も引き続き、団体貸出を積極的に周知する。	中央図書館
利用者のニーズを反映しているか	◎			
利用者・貸出し冊数の増加となっているか	◎	保育園・子育てセンター等への団体貸出のほか、移動図書館車による端野小学校への学級文庫や自治区内保育所への団体貸出も実施している。	今後も引き続き、団体貸出を積極的に周知する。	端野図書館
利用者のニーズを反映しているか	◎			
利用者・貸出冊数の増加となっているか	○	自治区内3小学校・3保育所と中学校へ、リクエストにも応えながら貸し出しを実施している。	学校との連携をより緊密にし、本の中身を含めた読書案内の提供を検討したい。	常呂図書館
利用者のニーズを反映しているか	○			
利用者・貸出冊数の増加となっているか	○	幼稚園・小中学校への団体貸出のほか、グループホーム等の高齢者対象の団体貸出も行っている。	学校との連携のほか、施設等への利用促進が必要である。	留辺薬図書館
利用者のニーズを反映しているか	○			

事業名	事業主旨	H31(R1)実績
総合学習支援 職場体験 見学受入事業	図書館の機能や役割を理解し、活用する機会として学校との連携を深めながら体験の場を提供する。	職場体験 9校 21人
		職場体験 1校 3人 見学団体 3校
		職場体験 1校 1人 見学団体 2校
		職場体験 2校 4人 見学団体 1校

誰もが公平に図書館サービスを受けられる環境づくり

事業名	事業主旨	H31(R1)実績
図書館情報紙の発行 ホームページの充実 新刊案内他	図書館利用を進めるために、ホームページの充実、各種情報紙の発行など、各種手法を駆使して図書館からの積極的な情報発信と提供を行う。	毎月1回発行 教育機関・福祉施設等に配布
		児童案内・新刊案内 毎月1回発行
		常呂図書館ホームページ 随時更新
		ふれあい伝言板により 毎月発信

チェック項目		事業の成果	事業の課題	担当課
参加者の図書館への理解が深まっているか	◎	職場体験の受け入れや総合学習支援など学校との連携を図ることができた。	職場体験等の受入は人数に限度があるが、できる限り対応する。	中央図書館
学校との連携が図られているか	◎			
参加者の図書館への理解が深まったか	◎	職場体験、見学のほか、学校の要望に応え、図書館の仕事に関する質問に対応し、図書館の理解を深めることができた。	職場体験、見学について可能な限り受入し対応する。	端野図書館
学校との連携が図られているか	◎			
参加者の図書館への理解が深まったか	○	職場体験、見学のほか、学校の要望に応え、図書館の仕事に関する質問に対応し、図書館の理解を深めることができた。	職場体験、見学について可能な限り受入し対応する。	常呂図書館
学校との連携が図られているか	○			
参加者の図書館への理解が深まっているか	◎	高校の職場体験の受入や小・中学校の図書館見学の受入など学校との連携を図ることができた。	職場体験、見学について可能な限り受入し対応する。	留辺薬図書館
学校との連携が図られているか	◎			

チェック項目		事業の成果	事業の課題	担当課
情報紙の発行数は充実しているか	◎	毎月、発行している図書館だより「オーロラ」で新刊案内・行事案内等を行い、利用者に周知できた。	レイアウトなどを工夫して、より読みやすく、見やすい紙面づくりを心がける。	中央図書館
見やすい内容になっているか	◎			
情報紙の発行数は充実しているか	◎	児童案内「かたくりちゃん」の発行及び広報端野自治区折込版への新刊案内等を掲載するとともに、行事・展示についてホームページで周知を行った。	更なる内容の充実を図る。	端野図書館
見やすい内容になっているか	◎			
情報の発行数は充実しているか	○	常呂図書館ホームページを活用して、事業や図書館情報の発信、資料のデータベース化による提供で内容を充実させている。	更なる内容の充実を図る。	常呂図書館
見やすい内容になっているか	○			
情報紙の発行数は充実しているか	◎	行事日程、新刊本などの情報を提供できた。	更なる内容の充実。	留辺薬図書館
見やすい内容になっているか	◎			

I 自ら学び成果を活かす社会教育活動の推進

1. 多様な学習機会の充実

(4) 高齢者の学習支援

高齢者大学の充実 高齢者の学習機会の充実

事業名	事業主旨	H31(R1)実績
北見ことぶき大学	高齢者が生きがいのある人生やうるおいのある地域づくりをめざして自ら学び続け、社会の変化に対応しながら力強く生きるための研さんを目的とする。	4月4日～11月21日 在籍者数179名
端野しらかば大学	高齢者の学習機会や交流機会の拡充を図る。また、豊かな知識・体験を発揮できる場を提供する。	4/12～2/24 11回延べ571人
常呂オホーツク大学	高齢者が自己の資質を高めるため継続的に学習し、生きがいを追及する。	4/9～2/13 3/17卒業式中止 延べ1,834人
るべしべ寿大学	高齢者の持つ知識や経験を生かしながら、生活の中に生きがいを持ち、社会参加を目指して学習する。	4/10～2/12 13回 延べ558人

チェック項目		事業の成果	事業の課題	担当課
入学者数の確保がなされているか	○	社会情勢の変化に伴い、年金受給開始の先送り等により高齢者が働く時代になっており、入学者数が減少している。しかし、自ら学び続ける学び舎として高齢者の社会参加の促進や生きがいの創出に貢献している。	学生の募集方法については、市広報やポスター掲示及びPR動画の上映を行い、学生自治会や、OBの方々と連携しPRチラシの配布や公開講座の開催等を行っているが、多様なPR方法の検討が更に必要である。 また、北見自治区において大学院を設置に向け検討し、設置することとした。	中央公民館
講義(種類)の充実が図られているか	◎			
クラブ(種類)の充実が図られているか	◎			
有効な学習機会・体験の提供が できているか	◎	近年、端野自治区以外からの申し込みも受け入れ、生きがいを感じ、仲間づくりに重要な活動を行っている。	魅力あるプログラムづくりの充実を図る。	端野町 公民館
生きがいづくり・交流の場となっているか	◎			
開設数は十分か	○	ミント宅配便の活用や外部講師の招聘等、自己の資質を高めるために、互いが協力し合い学習できている。	継続する。	常呂町 公民館
参加者の満足は得られているか	○			
参加者が増加しているか	○	高齢者に交流と学習の場を提供し、生きがいを持って生活してもらうことで、地域社会の活性化にもつながっている。	学生数の増加と学習内容の更なる充実を図る。	留辺蘂町 公民館
参加者の満足が得られているか	○			

II 学校・家庭・地域が連携し子どもを育てる環境づくりの推進

1. 家庭・地域教育の推進

(1) 家庭の教育力向上支援

子育てに関する学習活動支援

事業名	事業主旨	H31(R1)実績
こそだて学級	子育て・家庭教育に関する課題等について、一定期間、計画的・継続的に学習する団体・グループを支援。	11学級 92講座 延べ944人
はぐくみ学級		7学級 26講座 延べ414人
子ども読書の日推進事業	「子ども読書の日」が制定されたことに伴い、絵本の読み聞かせなどを通じて、子どもたちへ読書普及と推進を図る。	4/21 120人
北見市児童・生徒 読書感想文コンクール	子ども達の豊かな人間形成を図るため、市内小中高の児童・生徒を対象に読書感想文コンクールを実施する。	応募324作品 入選21作品 佳作32作品

チェック項目		事業の成果	事業の課題	担当課
継続的な学習活動となっているか	◎	子育て世代の保護者を中心としたサークルなどが多岐に渡る学習会を実施した。活動を通して保護者間の交流にもつながっている。	既存団体で学級事業を利用していない団体への個別周知を図るとともに、すでに活動をしている団体への継続的なサポートが必要。	生涯学習課
課題解決をめざす学習内容となっているか	◎			
自主学習サークルの育成は図られているか	◎			
継続的な学習活動となっているか	◎	各幼稚園・保育園(所)・学校PTA等の団体活動で各種学習に取り組んだ。また、保護者同士の交流にもつながっている。	各幼稚園・保育園(所)・学校PTAの未開設団体への更なる周知。	生涯学習課
課題解決をめざす学習内容となっているか	◎			
自主学習サークルの育成は図られているか	◎			
子どもの発達段階に応じた読書活動の促進や啓発が図られているか	◎	「子ども読書の日」の時期に合わせて「春の読み聞かせタイム」を実施。読み聞かせ、腹話術、紙芝居、わらべうた、人形劇を通じて、子どもたちへの読書普及と推進が図られた。	今後もボランティアと協力し、多くの子どもたちに参加してもらうよう充実を図る。	中央図書館
この時期に合わせて展示や事業が行われているか	◎			
読書に対する興味や関心が得られているか	◎	小中高の児童・生徒から多くの応募作品が寄せられ、豊かな人間形成に寄与した。	学校図書館協会と連携し、事業内容の充実を図る。	中央図書館
課題図書・推せん図書のPRが図られているか	◎			

II 学校・家庭・地域が連携し子どもを育てる環境づくりの推進

1. 家庭・地域教育の推進

(2) 親子関係を豊かにする学習機会の充実

地域で子どもを育てる環境づくり

事業名	事業主旨	H31(R1)実績
家庭教育 5つのふれあい事業	「家庭教育5つのふれあい」の普及・啓発チラシを小学校新1年生家庭及びこそだて学級等に配布することにより、家庭教育への支援及び地域で子どもを育てる環境づくりの推進を図る。	未実施
親子ふれあい体験事業 (映画上映会)	「家庭教育5つのふれあい」の普及・啓発を通しての家庭教育支援事業。 青少年課と連携し、「子どものつどい」会場において親子映画上映会を実施。	映画上映会 延べ450人

家庭の教育力向上支援

事業名	事業主旨	H31(R1)実績
乳幼児絵本ふれあい事業	子どもの健やかな成長を願い、赤ちゃんと保護者が絵本を介して心触れ合うきっかけづくりの推進を図るため、乳幼児健診時にパンフレットの配布や読み聞かせを行い図書館カードの作成を呼びかける。	乳幼児健診 毎月2回 図書館カード登録者 655人
乳幼児絵本スタート事業	乳幼児絵本ふれあい事業で新規に図書館カードを作成した乳幼児を対象に図書館デビュー認定証贈呈式を実施。	図書館デビュー認定書 贈呈式 2回 参加者58組
絵本・紙芝居等の 読み聞かせ	幼児・児童に対してボランティア団体などの協力により紙芝居・絵本など読み聞かせを実施し、心豊かな子どもたちの育成と読書への関心をもたせる。	毎週日曜日 毎月第1・2・3土曜日 第3木曜日(東分館)
	心豊かな子どもの育成と読書への関心を高めるため、幼児・児童及びその親を対象に読み聞かせを実施する。	毎週土曜日 42回
	読み聞かせを通じて、読書に対する興味を引き出すとともに、情操教育の一助とする。	読み聞かせ会 毎週土曜日 クリスマスお楽しみ会 12/14 45人
お話の部屋	幼児・親子を中心に、読み聞かせを通じて読書への関心を高め、心豊かな子どもの成長に資する。	未実施

子育て支援

事業名	事業主旨	H31(R1)実績
幼児向け絵本宅配事業 (ペンぎんクラブ)	図書館来館が困難な幼児に対する絵本セットの宅配を通して読書環境の整備・読書習慣の形成に役立つとともに、子どもを持つ親の子育て支援につなげる。	月2回 1セット(3~4冊) 交換 利用者 26人

チェック項目	事業の成果	事業の課題	担当課
各家庭に事業趣旨が浸透しているか	-	チラシ等の配布がなかったため実施なし。	生涯学習課
参加者の確保が図られているか	◎	現在の啓発以外の周知のあり方の検討も必要である。	
事業が親子のふれあいにつながっているか	◎		

チェック項目	事業の成果	事業の課題	担当課
乳幼児から絵本に触れ合っほしいという事業目的が達成されているか。	◎	図書館カードの登録・図書館デビュー認定証贈呈式への参加を促し、引き続き健診会場において親子での図書館利用の促進を図る。	中央図書館
関係機関との連携強化が図られているか	◎		
親子で絵本を楽しんでほしいという事業目的が達成されているか	◎	図書館デビュー認定証贈呈式後も、引き続き図書館利用の促進を図る。	中央図書館
図書館利用のきっかけ作りとなっているか	◎		
読み聞かせグループの養成が図られているか	◎	ボランティア団体との連携を強化し、継続して実施することにより、読書への興味関心を引き出す必要がある。	中央図書館
市民に広く周知されているか	◎		
読書のきっかけづくりになっているか	◎	ボランティア団体との連携を密にし、幅広く周知する。	留辺蘆図書館
参加者の満足は得られているか	◎		
参加者の満足度は得られているか	○	読み聞かせ会の参加者が減少傾向にあるので、事業の周知方法について検討が必要である。	端野図書館
市民に広く周知されているか	○		
親子のふれあいにつながっているか	-	幼児期の読書活動を推進するためにも、事業の担い手を確保するとともに、保育園との連携強化を図り実施態勢を構築していく必要がある。	常呂図書館
プログラムの多様を図られているか	-		

チェック項目	事業の成果	事業の課題	担当課
親子での読書習慣の支援になっているか	◎	子育て支援・読書支援につながるよう、更なるサービスの深化を図る必要がある。	常呂図書館
発達段階に応じた読書活動の推進が図られているか	◎		

II 学校・家庭・地域が連携し子どもを育てる環境づくりの推進

2. 青少年教育の推進

(1) 豊かな体験学習機会の提供

体験学習の実施

事業名	事業主旨	H31(R1)実績
土曜学校	子ども達の土曜日における豊かな教育環境の充実を図るため、地域における多様な学習や体験活動の機会などを提供する。各開催小学校児童を対象に募集を行い、プログラムとして、もの作りやスポーツ活動などの体験教室を実施する。	【常呂小学校】11人 【豊地小学校】12人 【西小学校】56人 【南小学校】40人 【緑小学校】23人
少年少女発明クラブ	少年少女に科学的な興味、関心を追求できる場を提供し、集団の中で工作活動を通じ完成する喜びを体得させ、創造性豊かな人間形成を図る。	153回開催 (定例26回、臨時20回、 チャレコン107回) 延べ1,930人
文化センター 夏休み・冬休みイベント	夏休み及び冬休み期間中に開催。実験・工作・制作を実施することで、科学・博物・美術、それぞれについての興味関心を育成する。	8/4(夏),1/5(冬) 740人(夏400、冬340)
科学の祭典	地域の青少年を対象に、実験・工作・体験を通して、科学を幅広く紹介することで科学への興味・関心を育成する。	11/3 1,520人
宇宙パラシュートを作ろう	科学技術の普及・振興を目的として制定された「科学技術週間」に合わせ、モノ作りを通して科学について考え、理解を深める。	6/29 52人
ゴールデンウィークイベント 楽しい科学実験教室	科学実験・工作・天体観測等を通して、自然科学への興味・関心を育成する。	5/3～5 356人
市内小中学校 夏休み作品標本展	市内の小中学生が製作した理科教科に関する夏休みの自由研究を一堂に公開して自然科学への興味関心を高める。	8/31～9/6 来館人数456人
天文活動(天体観望会)	天文・宇宙に関する学習や情報提供を天体観測やプラネタリウムの投影を通して行うことで興味関心の育成を図る。	4月～2月17回 1,323人
科学イベント事業	年間数回、特別展、プラネタリウム特別投影を開催、科学する心、創造する心の育成を図る。	4,313人 ※GWイベント、夏冬文セン祭り、科学の祭典を除く
子どもトンカチクラブ	小学生を対象に木工作を通して道具の使い方を体験し、自然に触れ合う。	9/12・13・17 3回開催 延べ30人
体験施設事業への 参加奨励事業	ネイパル北見やグローバル体験施設等の青少年を対象とした体験施設事業への参加を奨励する。	随時
はたちのつどい	20歳を迎える若者が、仲間といろいろな活動を通じて学びあう。	計9回 延べ24人

チェック項目		事業の成果	事業の課題	担当課
参加者の確保が図られているか	◎	様々なプログラムを通して子どもたちの豊かな感性を育てるとともに、異学年の交流を促進した。併せて、講師による地域教育の向上につなげた。	低・中学年児童の参加が中心となってしまうため、体験学習のニーズ把握に努めることとし、情報収集に更なる力を入れる。	生涯学習課
異学年交流が図られているか	◎			
地域教育の向上につながっているか	◎			
参加者が一定の数に達しているか	◎	中学生にボランティア体験の機会を設けるなど新しい活動が増えた。また、工作や絵画展への応募、チャレンジコンテストへの継続参加などを通して完成・評価される喜びを伝えられた。	指導員謝金が不足しており、工夫していく必要がある。	北網園北見文化センター
施設や備品を十分に活かした活動となっているか	◎			
入場者が一定の数に達しているか	◎	オホーツク文化協会と共催で科学から博物、美術まで幅広い体験ブースを提供し、化学・博物・美術への興味関心を高めた。	多くの来場があることから安全に配慮した人員配置とフォローアップをする必要がある。	
市民に広く周知されているか	◎			
入場者が一定の数に達しているか	◎	開館記念無料開放と恒例で広く知られていることから一定の来場者がある。少しずつ新しいブースもあり、利用者の科学への興味関心を高められた。	ボランティアの事前指導を徹底し安全性を高めること、科学への興味関心、感動やおどろきを与えられるよう工夫することが必要である。	
市民に広く周知されているか	◎			
入場者が一定の数に達しているか	◎	簡単な工作を通して宇宙を身近に感じるとともにモノづくりの喜びを伝えることができた。	小学生低学年以下の参加が多いため、保護者を同伴させるなど安全対策を十分に行う必要がある。	
市民に広く周知されているか	◎			
入場者が一定の数に達しているか	◎	サイエンスショーや天体観望会の講師による指導で科学の不思議さや楽しさを伝えることができた。	連休中のため、天候に左右されることが多い。入館者数に関わらず、十分な利用者対応ができるよう準備することが必要である。	
市民に広く周知されているか	◎			
観覧者が一定の数に達しているか	○	市内小学生から多くの自由研究が一同に公開され、出品者や来館者の興味関心が高まった。	中学校の参加が無かった。平成33年度に50年目の節目を迎えるため、主催の市教研理科部会と今後の取り組みを検討。	
出品数が増加しているか	○			
入場者が一定の数に達しているか	◎	学芸員以外による幅広い解説・指導や参加者の子どもたちの解説など市民参加型により楽しく知識を深めることができた。	リピーターの方にも楽しんでいただけるよう講師の拡充やステップアップした内容のイベント開催ができるよう工夫する。	
市民に広く周知されているか	◎			
施設や備品を十分に活かした活動となっているか	◎			
入場者が一定の数に達しているか	◎	科学系イベントを望む多くの市民に利用していただき、科学する心、創造する心の育成が図られた。	大型の企画展を望む声も多く、今後、検討が必要である。	
市民に広く周知されているか	◎			
体験学習として道具を使って作品をつくったり、自然に親しむ事業になっているか	◎	参加者10人全員が、木工作や自然観察を楽しむ事業となった。	引き続き開催する。	端野町歴史民俗資料館
体験施設との連携が図られているか	○	関係施設との連携、情報交換を行い事業周知の協力を行った。	引き続き関係施設との情報を共有し、事業周知などの協力をしながら青少年の体験事業への参加を奨励する。	常呂生涯学習課
参加者の満足が得られているか	○			
集いへの参加を促す啓発がなされているか	○	8月から年末年始の活動の中で、成人式の開催にあたって活動し、それぞれの結びつきを強めることができています。	対象者がお盆や年末年始の帰省時にしか活動できない状況であるが、少数でも継続し、それぞれの年代の結びつきを強める事業として継続する。	留辺蘆生涯学習課
活動の推進が図られているか	○			

II 学校・家庭・地域が連携し子どもを育てる環境づくりの推進

2. 青少年教育の推進

(2) 異年齢交流やボランティア活動への参加奨励

異世代間の交流

事業名	事業主旨	H31(R1)実績
異世代間交流事業	常呂オホーツク大学自治会事業や児童館事業、常呂高校との連携を通して、異世代間交流を図る。	クリーンアップワッカ 6/7 71人 高齢者大学と常呂児童館 7/30 16人 常呂高校と常呂児童館 4/24～12/18 109人

チェック項目	事業の成果	事業の課題	担当課
交流機会の回数は十分か	○ 児童館での高齢者大学生の伝承遊び指導、常呂高校ボランティア局と児童館の交流、クリーンアップワッカなど異世代間交流を実施することができた。	継続する。	常呂町 公民館

Ⅲ 健康づくりと競技力向上や地域に根ざしたスポーツ活動の推進

1. スポーツ活動の推進

(1) 生涯スポーツの振興

各種スポーツ教室の開催

事業名	事業主旨	H31(R1)実績	
市民スポーツ教室	生涯にわたりスポーツに親しみ、健康で充実した生活を過ごすことができるよう、日頃スポーツ活動に親しみの少ない市民を対象に機会を提供し、あわせてスポーツの日常化と地域づくりを目的とする。 【ヘルシースポーツ教室】 エクササイズやトレーニングを通じ、運動の日常化と健康維持・増進を図る。 【冬季教室】 冬季種目普及と市民の健康維持・増進を図るとともに交流の場を提供する。	【ヘルシー】 女性の部 15回 各15人 男性の部 9回 各 9人 2教室 24日間 延べ306人 【冬季】 クロスカントリー4回 各4人 ブルームボール1回 30人 2教室 延べ46人	
地域スポーツ教室	生涯にわたりスポーツに親しみ、健康で充実した生活を過ごすことができるよう、日頃スポーツ活動に親しみの少ない市民を対象に機会を提供し、あわせてスポーツの日常化と地域づくりを目的とする。	ミント宅配便 派遣数:6回	
少年少女スポーツ教室	【コアラくらぶ】 運動あそびをとおして「生きる力(生活に必要な基本的運動能力や協調性)」が育まれるよう支援するとともに、参加者同士の交流による新たな仲間づくりの場を提供する。 【キッズスポーツ教室】 基礎的な運動を通じた児童の発育促進と筋力・体力向上を図る。 【Jr.アスリートチャレンジアカデミー】 様々な競技を体験する中で、自分に合ったスポーツを見つけ、児童のスポーツ振興と筋力・体力向上に繋げる。 【キッズスイミング教室】 基礎技術向上と競技普及を図るとともに児童の交流の場を提供する。 【スケート教室】 基礎技術向上と競技普及を図るとともに児童の交流の場を提供する。	【コアラくらぶ】 20回 32組 5日間 延べ160組 【キッズスポーツ教室】 前期 8回 35人 後期 8回 35人 2期 16日間 560人 【Jr.アスリート】 夏季 25回 47人 冬季 10回 14人 2教室 35日間 延べ1,315人 【スイミング教室】 8回 70人 8日間 延べ560人 【スケート教室】 3～6年生 5回 各50人 5日間 延べ250人	
	【キッズスイミング教室】 基礎技術向上と競技普及を図るとともに児童の交流の場を提供する。 【スキー教室】 基礎技術向上と競技普及を図るとともに児童の交流の場を提供する。	【スイミング教室】 5回 23人参加 【スキー教室】 4回 32人参加 2教室 7日間 延べ226人	
	体力測定会の実施	体力や健康に対する関心の高まりに対応し、各年齢階層別又は職場等を対象に体力測定を実施することで、市民要望に応える。	未実施
	市民体育祭	体育の日の趣旨を生かし、市民が広くスポーツに親しみ、その理解と関心を深めるとともにスポーツの日常化を図る。	協賛大会 19大会 5,100人

チェック項目		事業の成果	事業の課題	担当課	
公平な開催が図られているか	◎	ヘルシースポーツ教室・冬季スポーツ教室を実施し、働く世代へスポーツ活動の機会提供や冬季種目の普及と市民の健康維持・増進が図られた。	教室への参加意欲を喚起するため、新しいプログラムを取得し、提供できる専門インストラクターの確保が必要。	スポーツ課	
市民の要望を反映しているか	◎				
生涯スポーツの振興につながっているか	◎				
公平な開催が図られているか	◎	スポーツ推進委員による出前講座「ミント宅配便」を実施し、スポーツに親しむ機会を提供した。	市民からの派遣要請に柔軟に対応できるスポーツ推進委員の確保が必要。		
利用者の要望を反映しているか	◎				
教室数は十分開催されているか	◎	各種スポーツ教室の実施により、子どもの体力向上、学校体育授業の一助となった。	教室への参加意欲を喚起するため、新しいプログラムを取得し、提供できる専門インストラクターの確保が必要。		
公平な開催が図られているか	◎				
利用者の要望を反映しているか	◎				
教室数は十分開催されているか	◎	各種スポーツ教室の実施により、技術の向上が図られ、児童の交流の場となった。	教室の参加者ニーズはあるが、指導者の確保が課題である。		端野 生涯学習課
開催日数が十分確保されているか	◎				
参加者が増加しているか	○				
参加者数が増加しているか	-	実施団体と調整を行っていたが、団体の都合によりやむを得ず中止となった。	(公財)北見市スポーツ協会と更なる連携協力を密にし、広く市民に周知する。	スポーツ課	
市民に広く周知されているか	-				
総参加者数が増加しているか	○	協賛大会及び体育の日は、市内スポーツ施設を無料開放し、市民のスポーツ振興を促進した。	(公財)北見市スポーツ協会と加盟単協との連携強化。		
市民に広く周知されているか	○				

事業名	事業主旨	H31(R1)実績
スポーツ教室	日常生活を健康で豊かに過ごすため、自ら継続できる運動を指導・普及する。	筋膜体操トレーニング (一般成人対象) 1教室 1回 参加者27人 (コロナウイルス感染症拡大防止のため5回中4回中止)
		8教室 88回 延べ1,656人
高齢者ベタンク教室	健康で活力ある生活を目指すため、体力の向上と老人クラブ及び会員相互の交流を図る。	6/26 13人(3老人クラブ)
初心者スキー教室	初心者を対象として、スキーの楽しさ、初歩的技術の習得を目的とする。	1/7~9 延べ81人
市民登山	体力作り・健康増進とあわせて自然愛護と郷土愛を養う。	8/18 25人参加予定(中止)
老人クラブ対抗ベタンク交流会	健康で活力ある生活を目指すため、体力の向上と老人クラブ及び会員相互の交流を図る。	7/9 20チーム 65人

学校開放事業の実施

事業名	事業主旨	H31(R1)実績
学校体育施設開放事業	地域でスポーツ活動を継続して行っている各スポーツクラブを主な対象として、学校体育館を開放し、自主管理のもとに運営し地域スポーツの振興を図る。	【夏季】 利用団体 112団体 学校数 19校 人数 1,748人 【冬季】 利用団体 113団体 学校数 19校 人数 1,763人 【延べ利用人数】 35,430人
		52日 335人
	地域でスポーツ活動を行っているスポーツクラブ、団体を主な対象として、学校体育館を開放し、地域スポーツの振興を図る。	利用9団体 2,930人
		3団体 延べ1,175人

チェック項目		事業の成果	事業の課題	担当課
教室数は十分開催されているか	◎	事業の実施により、日常生活で継続できる運動の指導・普及につながった。	教室への参加意欲を喚起するため、新しいプログラムの教室の開設を検討する。	端野 生涯学習課
開催日数が十分確保されているか	◎			
参加者が増加しているか	○			
事業効果が上がっているか	◎	プール教室の質が向上し、参加者も増えている。 太極拳教室を予定していたが、コロナウィルス感染拡大防止の観点から中止。	継続して実施する。 成人向けのスポーツ教室の内容を検討し、拡充する。	常呂 生涯学習課
参加者数が増加しているか	◎			
事業効果が十分上がっているか	◎	複数の老人クラブの会員相互の交流が図られた。	各老人クラブの活動状況を把握し、生涯スポーツの普及振興を図る。	留辺蘂 生涯学習課
参加者数が増加しているか	△			
事業効果が十分上がっているか	◎	参加者の多くが初歩的技術を習得できた。	留辺蘂スキー連盟及び八方台スキー場との連携強化を図り、継続して事業を実施する。	
参加者数が増加しているか	△			
登山のルールや自然環境が学ばれているか	—	台風の影響により中止。	限られた時間と安全を考慮、また参加者を見込める企画内容を検討し、事業を継続する。	
参加者数は増加しているか	—			
交流促進が図られているか	◎	7老人クラブから計20チームが参加し、生涯スポーツの振興と参加者相互の交流が図られた。	各老人クラブの活動状況を把握し、生涯スポーツの普及振興を図る。	
参加者数が増加しているか	○			

チェック項目		事業の成果	事業の課題	担当課
公平な利用が図られているか	○	小中学校の体育館を各種スポーツ団体に開放することで、市民がよりスポーツに親しむ機会が増え、スポーツ活動の振興や競技力の向上につながっている。	開放学校数が限られているが、利用希望団体は増加傾向にあるため、できるだけ利用団体の要望に沿う調整を図る。	スポーツ課
利用者の要望を反映しているか	○			
開放校の拡充は図られているか	○			
土日祝日利用者が増加しているか	○	自治区唯一のプールとして、市民がスポーツに親しむ機会が増え、地域スポーツの振興が図られた。	地域の要望を聞きながら事業を実施する。	端野 生涯学習課
夜間利用者数が増加しているか	○			
スポーツの普及・振興に貢献しているか	◎	学校体育館の開放により、市民へのスポーツ活動の機会を与え、地域スポーツの振興が図れた。	一般団体の利用促進手段を検討する。	常呂 生涯学習課
利用者数が増加しているか	○			
スポーツの普及・振興に貢献しているか	◎	学校体育施設を夜間開放することで、市民へのスポーツ活動の普及と地域スポーツの振興が図られた。	地域の要望を聞きながら事業を実施する。	留辺蘂 生涯学習課
利用者数が増加しているか	△			

スポーツ指導者の養成と派遣

事業名	事業主旨	H31(R1)実績
スポーツ指導者養成事業	市内指導者の拡充による市民のスポーツニーズに合わせた指導者派遣要請に対応する。 スポーツ指導者の資格取得および講習会等にかかる経費(養成費)の一部を補助する制度の導入	助成内訳 2団体 2人
北見市スポーツリーダーバンクとの連携及び活用	市主催等のスポーツ教室、その他市民からの派遣要請に伴う指導者の確保については、北見市スポーツリーダーバンクとの連携及び積極的活用により対応する。	登録者数 多種目 75人、水泳 46人 合計 121人 講師派遣回数 15回
スポーツ推進委員とスポーツ協力員の連携	スポーツ推進委員は地域スポーツの普及・推進のため連絡調整・実技指導を行う、また、スポーツ協力員はスポーツ推進委員を補佐する。	スポーツ協力員 北見 11人 常呂 14人

コミュニティスポーツの推進

事業名	事業主旨	H31(R1)実績
おはよう会の活動充実	健康で充実した生活を目指し、早朝のスポーツの集いとして発展させ、あわせてウォーキングを奨励し、地域づくりの一助とする。	5/10～10/10 154日間 30会場 延べ113,806人
コミュニティスポーツの振興	地域特性、住民要望等を生かしたスポーツ振興を地域住民が自主的・自発的な活動として発展することを目的とする。	会員数 122人 活動回数 132回 活動人数 2,682人
さわやかラジオ体操	日常生活を健康で豊かに過ごすため、自ら継続できる運動を普及する。	5/10～10/10 農業者トレーニングセンター前
各地区体育事業の奨励・援助	各地区のスポーツ行事を援助(運動用具の貸出)し、自主的な体育活動を推進する。	4自治連合会 (緋牛内、一区、川向、協和) で実施
各種スポーツ大会の開催	スポーツを通してスポーツの普及、楽しさの追及、健康増進、参加者同士の交流、技術の向上を図るとともに、地域の活性化を図る。	8/25～2/2 4大会 (水泳、マラソン、カーリング、バレーボール) 482人

チェック項目		事業の成果	事業の課題	担当課
指導者の底辺の拡大が図られているか	○	リーダーバンク事業と連携した指導者養成費補助員交付制度を生かし、様々な市民ニーズに対応可能な指導者の確保に繋げた。	競技スポーツやエクササイズ系等、より実践的な要望にも対応可能な指導者の育成と確保が求められている。	スポーツ課
指導力の向上は図られているか	◎			
リーダーバンクとの連携は図られているか	◎	スポーツ教室3事業に対し講師を派遣しており、積極的に活用された。	活動可能な指導者の数が増えており、市民ニーズに対応可能な指導者の確保が求められている。	
スポーツ指導において市民等が活用しているか	○			
スポーツ推進委員と協力員の連携は十分に図られているか	○	スポーツ推進委員と協力しながら総合型地域スポーツクラブ「みんなで運動しよう会」、スポーツイベントの運営・補助に当たっている。	北見自治区については、「みんなで運動しよう会」の支援を行っているため、今後、クラブ会員増の場合は、協力員の増員も検討。	
スポーツ協力員の設置について市民に理解されているか	○			

チェック項目		事業の成果	事業の課題	担当課	
参加者数が増加しているか	○	誰もが参加することができ、また、地域の自主的・自発的な活動でスポーツの振興が図られ、健康で豊かな日常生活が営まれている。	北見市ラジオ体操連盟と連携し、「おはよう会」活動の継続を推進する。	スポーツ課	
地域づくりが図られているか	◎				
市民に開かれたスポーツクラブ運営となっているか	○	多世代の方が様々なスポーツや交流事業を行うことにより、スポーツの日常化に繋がっている。	会の現状の問題点の解決や将来展望を会員自ら実践できるよう指導するほか、新しいクラブの設立には、スポーツ推進委員が中心となり、地域住民のパイプ役として活動し、スポーツ推進体制を整えていく。		
自主的な活動となっているか	○				
継続的な活動になっているか	○	個人愛好者が自主的に参加している。	団体としての活動ではなく、参加者の増もなく、自主的な参加で、継続的な取り組みがみられる。	端野 生涯学習課	
参加者が増加しているか	△				
自主的な活動になっている	◎	4地区のスポーツ行事を援助し、各地区の体育活動の推進が図られた。	すべて自治連合会役員が自主的に企画・運営しており、教委は用具の貸し出しを行っている。		
スポーツ行事は充実しているか	◎				
参加者数が増加しているのか	○	各種スポーツ大会の開催により、参加者同士の交流、地域の活性化が図られた。	児童・生徒の減少に伴い、対象大会の参加者は減少傾向にあるため、事業継続の検証をしながらも、魅力ある大会の継続を図る。		常呂 生涯学習課
開催時期等を含めて参加しやすい事業となっているか	○				

事業名	事業主旨	H31(R1)実績
高齢者運動会	日頃スポーツに接することの少ない高齢者が、それぞれ能力に応じた競技に参加し交流を図る。	10/8 9老人クラブ 148人
自治区 ミニバレーボール大会	住民皆スポーツを目指し、ミニバレーボール大会を通して住民相互の交歓・スポーツ振興を図る。	2/2 16チーム 95人
自治区ソフトボール大会	スポーツの生活習慣化と住民の意識の高揚を図るため、地区対抗に競技大会を実施するとともに、レクリエーションを通じた個人種目を行う。	6/30 3チーム 35人
自治区パークゴルフ大会	スポーツの生活習慣化と住民の意識の高揚を図るため、地区対抗に競技大会を実施するとともに、レクリエーションを通じた個人種目を行う。	9/1 11チーム 98人

障がい者スポーツの推進

事業名	事業主旨	H31(R1)実績
障がい者スポーツの 機会拡充	障がい者の健康増進と体力の向上を図り、社会的自立と福祉の増進に資することを目的とする。	未実施
あすチャレ！スクール	人間の多様性を認め合い、人間の強さやすごさを身をもって体験することを目的に、パラリピアンをはじめとするパラアスリートを講師に招聘し、パラスポーツの体験とリアルな声をきく機会を市内の小中学校の生徒をはじめ市民に提供する。	8/20～24 5会場 (小学校2校、中学校4校 うち、中学校2校は小規模校のため 共同開催) 377人

チェック項目		事業の成果	事業の課題	担当課
交流促進が図られているか	◎	参加老人クラブ及び参加者数は減少したが、参加者同士の交流が深められたとともに、高齢者の体力維持向上が図られた。	より多くの高齢者が参加できるよう、参加者の年齢等に応じた種目と内容を検討する。	留辺薬 生涯学習課
参加者数が増加しているか	○			
軽スポーツとして底辺拡大になっているか	◎	男子12チーム、女子1チーム、シニア3チームの参加があり、参加者相互の交流と地域スポーツの振興が図られた。	参加者の高齢化が高まっていく中で、関係機関と連携しながら広く周知を行い、若年層の参加者を増やす。	
参加者数が増加しているか	△			
事業効果が図られているか	○			
参加者数が増加しているか	△	参加者相互の交流と地域スポーツの振興が図られた。	競技人口が減少傾向にありながらも、留辺薬自治区体育振興会、競技協会と連携しながら、一定の参加者を集められるよう広く周知を行い、事業を進める。	
魅力ある事業内容となっているか	○			
事業効果が図られているか	○			
参加者数が増加しているか	○	前年とほぼ同数の参加により、参加者相互の交流と地域スポーツの振興が図られた。	協会と連携しながら、一定の参加者を集められるよう広く周知を行い、事業を進める。	留辺薬 生涯学習課
魅力ある事業内容となっているか	○			
事業効果が図られているか	○			

チェック項目		事業の成果	事業の課題	担当課
障がい者の参加が図られているか	-	関係団体や講師と調整ができず未実施となった。	障がい者スポーツ指導の有資格者、専門インストラクターの確保が必要。 (障がい者個々の状態に合わせたプログラムの企画)	スポーツ課
障がい者が参加しやすいプログラムになっているか	-			
パラスポーツの普及・振興が図られているか	◎	パラスポーツの体験と講師による実体験の講話を聞くことで、パラスポーツの普及・振興が図られた。 ・車いすバスケットボール 5教室	市内全小中学校での実施を図りたいが、パラリンピックサポートセンターへの委託事業であるため、事業の継続が確定できない。	

Ⅲ 健康づくりと競技力向上や地域に根ざしたスポーツ活動の推進

1. スポーツ活動の推進

(2) 競技スポーツの振興

全道全国等大会への派遣支援・大会開催支援

事業名	事業主旨	H31(R1)実績
全道・全国 各種スポーツ競技 大会助成	各種スポーツの競技力向上を目的として、北見市で開催する競技会及び全道・全国大会への選手派遣に対して支援をする。	少年団 件数 45件 大会派遣 件数 38件 大会開催 件数 5件

スポーツ合宿事業の実施

事業名	事業主旨	H31(R1)実績
スポーツ合宿事業	社会人・大学・高校等のスポーツ合宿を誘致し、スポーツの振興と地域活性化に資する。	165チーム 14種目 3,520人(延べ16,335人)
スポーツ選手強化 対策事業	全道・全国水準のトップアスリートと接することにより北見市における競技人口の拡大とともに育成強化を図ることで、各種目の競技力向上とスポーツによるまちづくりに資する。	教室参加者 合計 133人 ・ラグビー参加者 100人 ・バレー 参加者 20人 ・陸上 参加者 13人

スポーツ少年団の育成

事業名	事業主旨	H31(R1)実績
八方台スキー大会	市民を対象にスキー大会を開催し、スキーの普及発展を図る。	コロナウイルス感染防止対策により 中止(3/20予定)
北海道北地区 中学生弓道大会	国民体育大会弓道競技の留辺蘂町開催を記念し、次代を担う少年少女弓道の普及・発展を図る。	7/6 参加者78人

チェック項目		事業の成果	事業の課題	担当課
公平な補助が図られているか	○	全道・全国大会出場、選手への派遣補助及び北見市での開催補助をすることで、選手やチーム強化等のスポーツ振興につながっている。	地元の各種競技スポーツ競技力向上を図るため、当該補助制度が活用されるよう各競技団体への周知を継続する。	スポーツ課
市民に広く周知されているか	○			
利用しやすいものとなっているか	○			

チェック項目		事業の成果	事業の課題	担当課
地域の活性化が図られているか	◎	各種スポーツチームによる北見合宿により、地元スポーツ団体における競技力の向上とスポーツ振興が図られ、更に市内各業界への需要増から地域経済の活性化に貢献した。	スポーツ合宿の多種目化・通年化を一層進めるため、施設の維持・整備等を図り、地元のスポーツ協会等との連携を更に深める。	スポーツ課
合宿チームの拡大・多種目化が図られているか	◎			
地域の活性化が図られているか	◎	社会人ラグビーチームによるラグビークリニックのほか、NEC女子バレー部によるバレーボール教室や日本ブラインドマラソン協会による教室の実施により、市内競技者の育成強化が図られた。	市民に定着した事業となるよう、運営方法についてより親しめる内容としていく。 また、多くの競技によるクリニックや教室等の実施を今後も継続する。	
地元住民との連携が図られているか	◎			

チェック項目		事業の成果	事業の課題	担当課
競技の底辺拡大・競技力の向上になっているか	—	子どもから大人まで誰もが楽しめる種目を用意することで、スキーをより身近なものとして親しんでもらうことができ、冬季スポーツの普及発展が図られている。	今後も多くの市民が参加できるよう、スキー連盟と連携しながら広く周知する。	留辺蘂 生涯学習課
参加者数が増加しているか	—			
弓道の普及・振興に貢献しているか	○	弓道競技の正しい理解と精神的及び身体的修練が身につく、弓道の発展と普及が図られた。また、各中学校間での交流が図られ、生徒相互の技術向上につながっている。	今後も、精神的・身体的修練を身につけられるよう弓道の普及発展を図る。	
競技人口が増加しているか	○			

各種スポーツ団体との連携・協力

事業名	事業主旨	H31(R1)実績
スポーツ少年団の育成	少年期におけるスポーツ活動は、心身の健全育成に大きな役割をもつことから各少年団との連携協力を努める。	16種目 団体数 73 団員数1,389人 指導者数296人
カーリング振興事業	カーリング競技レベルを維持し、高めていくために、ジュニアカーリング競技の振興を図り、次代の選手を育成する。	研修回数 2回 参加者数 延べ14人
各種スポーツ団体との連携・協力	体育・スポーツ関係団体の組織・活動状況を把握し、北見市のスポーツ普及振興について理解を深め相互の連携協力を図る。	大会開催補助 10件
		自治区大会等 3大会 延べ24人
		ソフトボール、パークゴルフ、スキー等大会の協力

チェック項目		事業の成果	事業の課題	担当課
少年団の底辺拡大となっているか	○	(公財)北見市体育協会及び各少年団と連携し、活動しやすい環境作りや大会出場に対する補助等を行った。	スポーツ少年団を総括している(公財)北見市体育協会と更なる連携協力を密にする。	スポーツ課
少年団の競技力向上が図られているか	○			
スポーツの普及・振興に貢献しているか	○	北見カーリング協会と連携し研修会を開催したことにより、スポーツ推進委員の指導力の向上が図られた。	スポーツ団体と連携し、市内小中学校へ派遣できるよう技術の向上を図るとともに、授業へ派遣しスポーツの普及・振興を図る。	スポーツ課
スポーツ団体との連携が図られているか	○			
組織・活動状況の把握をしているか	○	各スポーツ大会を誘致・開催することにより、選手の競技力や指導者の指導力の向上が図られた。	全道・全国大会の誘致を更に進めるため、各競技団体との連携・協力を深める。	スポーツ課
組織との連携は図られているか	○			
組織・活動状況の把握はなされているか	○	常呂町体育振興会の組織・活動状況の把握・連携は概ねとれている。	構成員の一部高齢化により、退会を希望する方も出てきており、構成員を確保することが当面の課題である。	常呂 生涯学習課
組織との連携は図られているか	○			
スポーツの普及・振興に貢献しているか	○	留辺蘂自治区体育振興会を通じ、12のスポーツ団体・10のスポーツ少年団との連携が図られた。	各スポーツ団体との連携を深め、スポーツの普及・振興を図る。	留辺蘂 生涯学習課
スポーツ団体との連携が図られているか	○			

Ⅲ 健康づくりと競技力向上や地域に根ざしたスポーツ活動の推進

1. スポーツ活動の推進

(3) スポーツと地域振興

国際大会へ向けた事前・直前キャンプ招致

事業名	事業主旨	H31(R1)実績
スポーツ合宿誘致	夏季・冬季五輪の直前・事前キャンプ実現による、国際交流や地域活性化を図る。	中国社人カーリング チーム 21人

スポーツコンベンション、スポーツツーリズムの推進

事業名	事業主旨	H31(R1)実績
ホクレン・ディスタンス チャレンジ北見大会	北海道の冷涼な環境を生かし、全国各地の中・長距離走のトップアスリートを招き陸上競技の振興を図る。	大会参加者 259人 観戦者 450人
ツール・ド・北海道	国内を代表するサイクリングロードレースのツール・ド・北海道の開催を支援し、スポーツの振興を図る。	大会参加 20チーム 100人
たんのカレライスマラソンの支援	たんのを代表する地域スポーツイベントを支援し、地域の活性化を図る。	9/15 203チーム 来場者1,300人
サロマ湖100km ウルトラマラソンの開催	広域的(北見市・佐呂間町・湧別町)なスポーツイベントを協力・支援・援助するとともに、同イベントを活用し地域活性化を図る。	6/30 エントリー 4,155人
2019アドヴィックスカップ	国内の強豪チームによる魅力ある大会を開催し、カーリングオフシーズンを盛り上げると共に、地域の技術力の向上とカーリングの普及と育成を図る。	8/9～8/12 10チーム 89人
NHK杯カーリング 選手権大会	カーリング競技の普及振興と健康で明るく健やかな冬の生活を保持するため、年齢を問わず楽しむことができるスポーツ大会を協力・支援する。	11/2～11/4 50チーム、225人 (男子34チーム、女子13チーム、 チェア3チーム)

チェック項目		事業の成果	事業の課題	担当課
国際チームの合宿誘致が図られているか	○	各種協議団体や関係機関に対し、合宿地としての誘致活動を行った。国際大会の事前合宿として合宿が実現した。	大規模な国際大会に向けた各国代表クラスチームの合宿誘致を図るため、各種競技団体、関係機関と連携した活動を行う。	スポーツ課

チェック項目		事業の成果	事業の課題	担当課
地域の活性化が図られているか	◎	夏場の降雨量が少なく冷涼で過ごしやすい北見市をアピールする絶好の機会であり、参加チームの北見合宿誘致につながっている。また、市民に国内トップレベルの競技を間近に触れられる機会を提供することによりスポーツ振興に寄与し、選手滞在による経済効果も図られている。	来年度以降も現行体制による大会開催とし、北見市における陸上競技の振興と競技力の向上を図る。	スポーツ課
地域におけるスポーツ振興に貢献しているか	◎			
地域の活性化が図られているか	◎	市民に国内外のトップレベルの競技を間近で観戦できる機会はスポーツ振興へつながり、選手や観客の滞在により地元の経済効果も図られている。	持ち回りの大会であるため、スムーズな運営となるよう関係者との連携を深める。	
地域におけるスポーツ振興に貢献しているか	◎			
参加者が増加しているか	◎	イベントの知名度は上がっており、市内外からの多くの参加があり、地域の活性化につながった。	実行委員会の組織力を強化し、大会を継続する。	端野 生涯学習課
市民等に支持される事業となっているか	◎			
ボランティア等を含めた関係者との連携は十分に図られているか	◎			
参加者数が増加しているか	◎	人気が高く、市内外から多くの参加があり、広域的な地域活性化につながった。	大会の安全確保を拡充させるため、歩道走行の徹底、歩道が無いコースには、コーン・バーでの分離等を検討し、次回大会から実行する予定。	
市民等に支持される事業となっているか	◎			
ボランティア等を含めた関係者との連携は十分に図られているか	◎			
PR効果は十分か	◎	国内トップチームが召集するレベルの高い大会を開催することができた。	これからも発展するよう関係者との連携を深める。	常呂 生涯学習課
市民等に支持される事業となっているか	◎	ネーミングライツパートナーである(株)アドヴィックスとの協力関係を深めることができた。		
参加チーム数が増加しているか	◎	多くのチームが一同に集まる大会の協力・支援により、カーリング競技の普及振興が図られた。	これからも発展するよう関係者との連携を深める。	
市民等に支持される事業となっているか	◎			

IV 歴史と風土に根ざし次世代につなげる地域文化活動の推進

1. 芸術・文化活動の推進

(1) 芸術・文化活動を支援する体制の整備

文化団体の育成と市民参加の促進

事業名	事業主旨	H31(R1)実績
姉妹都市交流作品展	両市の作品展示を通して、姉妹都市高知市との文化交流を図る。	【高知市展】 5/25～6/9 北見市作品31点出展 【北見市展】 10/13～19 10/22～27 高知市作品25点展示

芸術文化の創造

事業名	事業主旨	H31(R1)実績
開成ふるさと工芸館 陶芸初心者教室	工芸館で活動している陶芸サークルによる指導のもと、陶芸という伝統的な創作活動を通じて、生きがいづくりと健康の増進を図る。	5/13～7/8 毎週月曜日 全9回 受講者8人
美術館実技講座 水彩画入門	水彩による静物画と風景画を基礎から学べる講座。	6/22～8/10 全8回 受講者13人
絵画講座「やさしい美術」	絵画表現の基礎基本から応用までを学ぶ。	9/21～11/9 全8回 受講者7人
陶芸工房の利用促進	文化活動の推進、交流機会の拡充のための施設の効率的な管理運営を行う。	【陶芸教室】7/20 29人 【工房開館】 184日 458人

各種文化情報の収集・提供

事業名	事業主旨	H31(R1)実績
芸術文化団体、 グループ活動への 支援、協力	芸術文化団体、グループへの支援・協力を通じて将来的に鑑賞組織の育成を図る。	4事業 入場者数 3,343人
端野町文化連盟への 指導援助	加盟団体や文化活動グループの育成と指導援助を行う。	文化連盟と公民館の共催事業 11/2～11/4 自治区文化祭 11/23 チャリティ芸能発表会 2/2 たんの芸術祭
常呂町文化連盟への 指導援助	団体活動を支援し、団体の活性化を図る。	ふるさと芸術祭の実施

チェック項目		事業の成果	事業の課題	担当課
高知市との相互交流は図られているか	◎	北見市より31点、高知市より25点の作品が出品交流されており、姉妹都市である高知市との文化交流は図られている。北見市・高知市相互の文化振興に寄与している。	参加者及び観覧者の高齢化が進みつつある中で、若年層への興味関心を促進する必要がある。	生涯学習課
芸術文化活動の促進につながっているか	◎			
市民に広く周知されているか	◎			

チェック項目		事業の成果	事業の課題	担当課
参加人数は増加しているか	△	複数の講師による時間をかけた基礎的な陶芸指導により、皿やどんぶりなど、受講生それぞれの個性を活かした作品が完成した。また、教室終了後、各サークルへ入会する方もおり、サークルの活動支援につながっている。(R1は陶芸サークル「おりべ」が講師)	サークル活動日である平日の日中に実施する事業のため、応募者にも制限がある。	生涯学習課
終了後も継続的活動が行われているか	○			
講師団体の活性化につながっているか	◎			
市民に広く周知されているか	◎	定員を超える受講者が集まり、楽しみながら実技を学べたようである。	デッサンや水彩画を学びたいという市民のニーズが高いため、引き続きこれに依って開講したい。	北網圏北見文化センター
受講者が技術を十分に習得できたか	◎			
参加者は一定の数に達しているか	○	受講者数は募集数の半分であったが、それぞれの関心や得意分野に合わせた、きめ細やかな指導が行われた。	受講者数が低迷しており、講座内容の更なる充実と十分な広報が必要である。	
受講者が技術を十分に習得できたか	◎			
参加者数は増加しているか	○	①子供陶芸教室の指導を通じ、手作りによる体験の大切さを伝えるとともに、大人と子供の交流が深まっている。 ②自治区内2ヶ所で創作活動が行われている。	①子ども陶芸教室は継続事業とする ②2ヶ所ある陶芸工房の有効な活用を図る点から、活動を連携して行うことを探る必要がある。	端野生涯学習課
参加者の満足は得られているか	○			

チェック項目		事業の成果	事業の課題	担当課
入場者数は増加しているか	○	招聘の難しい演目を共催事業により実施した。	鑑賞組織の育成を図るためには、更に市民に対し芸術文化鑑賞の機会を与えなければならない。	中央公民館
入場者は、満足しているか	◎			
加盟団体は増えているか	△	文化連盟加盟団体への指導援助を行い、共催事業を実施し、団体の育成を図った。	加盟団体の減少や高齢化など課題が多いので継続して指導援助が必要である。	端野生涯学習課
団体に対し適切な指導がされているか	◎			
連盟との共同した事業が進められているか	◎			
自主的活動数は十分か	△	自主的活動、加盟団体数が増えないなど課題を抱えるが、団体との連携、相談などを細やかにし、団体の活性化を図った。	加盟団体の構成員数の減少や、高齢化などの課題を抱えている。団体活動の維持・継続を支援する。	常呂生涯学習課
加盟団体数は増加しているか	△			

IV 歴史と風土に根ざし次世代につなげる地域文化活動の推進

1. 芸術・文化活動の推進

(2) 芸術・文化活動に参加できる機会の提供

文化・芸術活動の発表の場の充実

事業名	事業主旨	H31(R1)実績
きたみ市民芸術祭	各ジャンルの発表・交流・鑑賞などを通して、地域・市民文化の向上を図る。 【文芸部門】 一般公募による発表の場の提供。 ・川柳大会 ・短歌大会 ・俳句大会 【展示部門】 一般市民・児童・生徒の作品発表、交流鑑賞機会の提供。 ・小中学校美術・書道展 ・美術展 【舞台部門】 舞台発表と鑑賞機会の提供。 ・吟道大会 ・北見合唱祭 ・児童・生徒合同音楽会 ・北見地方アンサンブルフェスティバル ・きたみ市民音楽祭 ・2019フレッシュコンサート 【第38回総合芸術祭】 総合的な発表と、鑑賞機会の提供。 ・書道・写真展 ・華道・押花・絵手紙展 ・文芸展 ・舞台発表・お茶会	参加延べ人数 12,007人
美術館講座合同作品展	講座にて制作した市民の作品発表の場。 講座から派生した3サークル生の作品も展示。 講座間の交流と講座活動のPR。	2/22～3/1 出展作品113点 入場者248人
北見市高校生美術展	北見市内と近郊に所在する高校8校の美術部が作品を展示。 コンテスト化しないことを主旨とし、生徒の自由な創作発表の場となることを目指して開催した。	12/7～8 出展作品91点 入場者数351人
小・中学生 俳句作品コンクール	小・中学生期から文芸に親しむ機会を設け、文化活動の底辺拡大を図る。	小学校15校 704句 中学校10校 1,200句 合計 1,904句
公民館まつり	公民館講座の修了者や公民館利用サークルが一堂に会し、学習の成果を発表しつつ、相互の交流を深め、生活文化向上を図る。	中止
端野地区文化祭への支援	自治区住民の発表機会の確保と文化活動の醸成を図る。	11/2～4 14団体 4個人

チェック項目		事業の成果	事業の課題	担当課
市民に広く周知されているか	○	多くの市民に対し、芸術文化に触れる機会及び展示・披露できる場を提供することができた。	今後も引き続き市民PRを行い、作品の応募・出演者数の増加を目指す。	生涯学習課
芸術文化活動の促進につながっているか	◎			
発表・鑑賞の場として機能しているか	◎			
十分な展示が行えたか	◎	講座やサークル活動の中で得た技術やアイデアを発揮した作品を展示できた。	令和元年度から水彩画入門講座が加わり、出展数も参加者数も大きく増加した。展示室の賑わいを今後も維持したい。	
市民の満足は得られているか	◎			
十分な展示が行えたか	○	高文連や他の公募展と異なり、賞の獲得を目的としないため、生徒が自由な発想で制作したエネルギーな作品が多数展示された。来場者に感想やメッセージを書いてもらうコーナーを例年設けており、出展した生徒自身は反応をじかに知ることができ、創作意欲の向上が図られた。	少子化の影響か、出品者・出品数がともに減少している。	北網圏北見文化センター
市民に広く周知されているか	◎			
参加者数は増加しているか	◎	小・中学生期から文芸に親しむ機会を設け、文化活動の底辺拡大を図ることができた。	今後も引き続き文芸に親しむ機会を提供し、参加者の増加を目指す。	
文化の向上が図られているか	◎			
市民に広く周知されているか	○	今年度においては、新型コロナウイルス拡大防止の観点から、中止することとした。	次年度以降も、引き続き市民PRを行い、参観者増加を目指し、公民館を身近に感じていただけるよう努める。	中央公民館
参加団体の参加が増加しているか	○			
参観者が増加しているか	○			
出品者・見学者は増加しているか	○	自治区文化祭が49回目となり、伝統ある重要な催しとなっており、文化活動の醸成が図られた。	展示部門年1回発表の機会であり作品も充実してきたが、準備片づけ等出品者・出役者の高齢化が進んでいる。	端野生涯学習課
出品者・見学者の満足は得られているか	○			

事業名	事業主旨	H31(R1)実績
チャリティー芸能発表会への支援	自治区住民の発表機会の確保と文化活動の醸成を図る。	11/23 参加団体数 6団体
個人、団体の展示活動の場の提供	日常的展示活動の奨励と機会の拡充を図る。	随時展示
ふるさと芸術祭	常呂自治区内の文化団体の活動を発表する機会の充実。	10/31～11/3 2,040人
ロビー・ギャラリー	ロビー壁面を活用した地域住民の各種作品展示。	6件
るべしベサマーコンサート	自治区内の小中学校、高校、一般の各吹奏楽団体による合同のコンサートを実施する。	6/22 210人
各種展示発表	文化活動の推進を図るため、文化団体・サークル活動の成果の発表を支援する。	11/18～12/13 小中学生書道・ 絵画展 延べ168点
文化祭	文化連盟団体が、日頃の活動成果を発表し、文化活動の推進を図る。	【展示発表会】 11/1～11/3 350人 【芸能発表会】 11/3 200人

チェック項目		事業の成果	事業の課題	担当課
参加者・観覧者は増加しているか	○	文化連盟加盟団体の舞台発表の場であるとともに、福祉協議会に益金を寄付するための貴重な機会となっている。	出演者・観覧者ともに固定化しており、新たな層への働きかけが大きな課題となっていることから、類似事業との統合を研究する。	端野町 公民館
参加者・観覧者の満足は得られているか	○			
年間展示利用件数は増加しているか	○	端野しらかば大学文化祭作品展示や端墨会の新年書初め会、税の書道展等一年を通して展示活動の場を提供し、団体等の活動を奨励している。	団体等の展示活動が多くの市民の目に触れられるよう、あらゆる機会を通してPRする。	
市民に広く周知されているか	○			
発表団体数は増加しているか	○	常呂町文化連盟に事業を委託し実施した。来客数・参加人数は維持しており、常呂自治区内の文化活動を発表する機会を提供できた。	参加者を増やし、内容を充実させ、文化活動の発表の機会を維持する。	常呂 生涯学習課
発表団体の満足は得られているか	○			
利用回数は増加しているか	○	ロビーを活用した市民の発表の場として機能している。	ロビーの有効活用、事業継続する。	常呂町 公民館
新規利用者は増加しているか	○			
事業効果が図られているか	◎	日頃の活動成果を発揮する数少ない場の一つであり、発表者にとっても観覧者にとっても重要な意味合いを持つイベントとなっている。	部員が少ない団体は編成できず個別発表ができないなどの問題がある。 少ない人数でも発表できるよう各団体の合同演奏を継続する。	留辺薬 生涯学習課
参加者数が増加しているか	○			
利用回数は増加しているか	○	ロビー等を活用した市民の発表の場として機能している。	随時受付しているが引き続き住民に周知する必要がある。	
文化活動の普及につながっているか	◎	日頃の活動成果を発揮する数少ない場の一つであり、発表者にとっても観覧者にとっても重要な意味合いを持つイベントとなっている。	参加団体の高齢化により、年々出演者が減少傾向にある。サークル活動が活発化するような取り組みが必要である。	
参加者数が増加しているか	○			

IV 歴史と風土に根ざし次世代につなげる地域文化活動の推進

1. 芸術・文化活動の推進

(3) 芸術鑑賞機会の充実

芸術文化自主事業の充実

事業名	事業主旨	H31(R1)実績
芸術文化鑑賞事業補助	芸術文化鑑賞の機会を提供し、地域文化の向上に資する。	5団体実施
道展北見移動展 (写真・美術)	道展入賞者の作品鑑賞機会の提供を通して、市民の芸術・文化のレベルアップを図る。	【①写真展】 9/25～29 延べ 484人 【②美術展】 3/10～15 中止
道展北見移動展 ワークショップ	道展北見移動展開催に合わせてワークショップ(実技講習)を実施。	3/14・15予定 →中止
美術館オープン展	「いつでも美術作品に出会える美術館であるために」平成18年より、美術館入り口の大型展示ケースで所蔵作品を随時展示する。	実施なし →終期
美術企画展	市民の幅広いニーズに応え、オホーツク地方では日頃あまり見ることができない質の高い芸術作品を展示し、市民・地域住民が芸術文化に触れる機会を創出する。	版画って何だ!?展 7/13～8/25 入場者1,064人 歌川広重展 12/21～2/9 入場者2,808人
北見市民ホール 自主文化事業	市民に優れた芸術文化の鑑賞機会を提供する。	9事業 7/5～3/8 5,226人 (新型コロナウイルス感染拡大防止のため、1事業中止)
齋藤茂吉 作品・資料の常設展示	近代日本歌壇を代表する歌人齋藤茂吉直筆作品や書簡など資料の一部を紹介する。	通年

チェック項目		事業の成果	事業の課題	担当課
市民に広く周知されているか	△	前年度より増加し全5件の要望申請があり、芸術文化鑑賞の機会の提供につながっている。	事業に係る周知方法について見直す必要がある。	
市民の鑑賞機会拡充につながっているか	○			
市民に広く周知されているか	◎	①道展作品の鑑賞機会提供によって、北見市民の芸術文化振興に寄与した。 ②新型コロナウイルスによる施設閉館により中止。	高齢化が進む中、生きがいづくりとして、芸術・文化活動に関わりを持ち始める市民も多く、今後更に、市民の要求度は高まることが予想される。	生涯学習課
入場者数は増加しているか	○			
創作活動の向上が図られているか	◎			
参加者は一定の数に達しているか	-	版画ワークショップを予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。		
市民の満足は得られているか	-			
計画どおり展示更新ができたか	◎	展示ケースの利用状況等もあり、図書館及び消防庁舎で実施した。	令和2年度から常設美術展示室設置に伴い、今後実施しない。	北網圏北見文化センター
市民に広く周知されているか	△			
入場者は一定の数に達しているか	◎	道立帯広美術館が所蔵するプリントアートの展覧会と、浮世絵師・歌川広重が手がけた2つの『東海道五拾三次』の展覧会をそれぞれ開催した。	今後も継続して市民のニーズに応え、優れた芸術作品を見る機会を提供したい。	
市民が満足できる美術展を開催できたか	◎			
入場者の目標が達成されているか	○	多様な分野の芸術文化の鑑賞機会を提供できた。	他の機関(NHKなど)との共催や、文化関係の補助事業などを積極的に導入して市民への芸術鑑賞の機会の向上を図ったが、さらなる芸術文化鑑賞の機会が必要である。	中央公民館
多様な分野から企画できているか	◎			
市民に広く周知されているか	○	文学館コーナーとして常時、出入りを自由にしており、直筆の短冊や色紙等を展示しているのが、興味のある利用者には満足いく様子であった。	文学館コーナーに関心を持ってもらうよう周知が必要。	中央図書館
市民の満足は得られているか	○			

事業名	事業主旨	H31(R1)実績
芸術鑑賞事業	芸術文化の向上と感性豊かな住民を育成するため鑑賞機会を提供する。	<p>(芸術文化鑑賞)2回実施 9/6 481人 (文化鑑賞事業)1回実施 10/10 294人</p> <p>1件 108人 (新型コロナによる中止1件あり)</p> <p>11/9 200人</p>
少年少女演劇鑑賞事業	子どもたちが、多種多様な芸術文化に触れる機会を提供する。	<p>8/23 【入船亭扇治独演会】 50人 2/1 【かぜのこぴーぷーひーひやら団】 100人</p>

チェック項目		事業の成果	事業の課題	担当課
選択したプログラムは妥当であったか	◎	芸術文化鑑賞は、端野小中学校としかば大学生を対象に、エコパフォーマー「らんま先生」を実施、環境問題や化学実験を題材としたエコ実験により、興味を引き、楽しく学ぶことができた。文化鑑賞事業は、「すぎやまこういちとブラスの響き」を実施、一般市民を対象に音楽鑑賞の機会を提供することができた。	継続する。	端野町 公民館
鑑賞者の満足が得られているか	◎			
鑑賞内容の充実が図られているか	○	鑑賞内容については、限られた予算の中で工夫し、演者の選定を行うことができた。市民に鑑賞機会を提供することができた。	継続する。	常呂町 公民館
鑑賞者の満足が得られているか	○	3月実施予定であった1件が新型コロナのため中止となった。		
芸術文化に触れるきっかけとなっているか	◎	「中村仁美民謡ショー」を実施。大変盛況に終わり、クオリティの高い伝統芸能を提供することができた。	今後も引き続き、ニーズの高い事業の誘致が必要。	留辺薬町 公民館
参加者数が増加しているか	○			
芸術文化に触れるきっかけとなっているか	◎	移動公民館芸術鑑賞事業として「入船亭扇治独演会」を留辺薬町児童館にて実施、「かぜのこびーぷーぴーひゃら団」を留辺薬町公民館にて実施。限られた予算の中で2回開催できた。	移動公民館事業として子ども達の集まる場所に向いての公演などを行い、効果をあげているので、今後もPTAなどとも連携を図りながら機会充実と参加者拡大を目指す必要がある。	留辺薬町 公民館
参加者数が増加しているか	◎			

IV 歴史と風土に根ざし次世代につなげる地域文化活動の推進

1. 芸術・文化活動の推進

(4) 地域の伝統文化の継承

伝統文化子ども教室の開催

事業名	事業主旨	H31(R1)実績
伝統文化子ども教室	伝統文化の継承及び奨励を目的として、子どもたちが体験する機会を提供するとともに、各団体の活動の継続を支援する。	5教室 団体延べ1,635人
新春小・中学生 下の句かるた大会	伝統文化を保存し、子どもたちに伝えるとともに、下の句かるたを愛好する小・中学生の交流を深め、仲間の輪を広げる	12チーム 39人
端野郷土芸能 保存交流事業	端野自治区における伝承芸能(伝統芸能)である豊実神楽を小学生対象に見学の場を設け、神楽の歴史や演舞を学び広く継承していく。	2/3 64人

チェック項目		事業の成果	事業の課題	担当課
実施団体は増加しているか	○	実施する新規団体はなかったが、事業参加者数は安定しており、和楽器・民謡・華道等の貴重な体験の機会を提供することができた。	子どもたちに伝統文化に触れる機会をより多く持てる環境づくりが今後の課題である。また、実施活動団体の高齢化に伴う存続課題もある。	生涯学習課
伝統文化の継承が図られているか	◎			
芸術文化振興につながっているか	◎			
参加者数は増加しているか	△	参加者数は減少となったが、伝統文化を保存し、子どもたちに伝えるとともに、下の句かるたを愛好する小・中学生の交流を深め、仲間の輪を広げることができた。	参加者数の確保と、現在子供たちのみの参加となっているが、高齢者と共に参加することで、異世代交流が図れないかなど、開催方法について研究する必要がある。	中央公民館
伝統文化の継承が図られているか	◎			
伝統芸能の継承が図られているか	○	端野小学校・上仁頃小学校3、4年生を対象に、豊実神楽の演舞を鑑賞する機会を提供することができた。	豊実神楽保存会と子どもたちの交流の機会を設け、豊実神楽伝承の歴史と神楽についての理解を深めていく必要がある。	端野町歴史民俗資料館

IV 歴史と風土に根ざし次世代につなげる地域文化活動の推進

2. 歴史と自然の保護活動の推進

(1)文化遺産の啓発

郷土史料の収集、保存、展示活動推進

事業名	事業主旨	H31(R1)実績
蒸気機関車等 保存管理・公開	かつて地域交通の主力を担ったSL等を保存・公開する。	毎年4月末 ～11月まで公開 体験会 8月1・2日実施、 81人
	日本の各地を走り活躍したD51蒸気機関車を、後世に残していくために維持管理する。	4～11月
文化財の保護・維持管理	市指定文化財「屯田兵人形」を保存・公開する。	拝観者 推計300～350人 保存状況 良好
	指定文化財・関連史跡の保全を図る。	定期的に清掃管理を実施
薄荷栽培・収穫・蒸溜実演 (収穫・蒸溜体験)	ハッカ記念館内の畑においてハッカを栽培・収穫し、薄荷蒸溜館において蒸溜実演を行い、広く市民等に公開する。また、希望者を募集し、ハッカ及びハーブの収穫や蒸溜工程を実際に体験してもらう。	ハッカ栽培・収穫 4月～11月 ハッカ記念館・薄荷蒸溜館 蒸溜実演・ほか体験通年で実施
博物館ミニ企画展	博物館で収蔵している資料をより多く市民の方に見ていただく機会を設ける。	3回実施 「真空管ラジオの世界」、 「絵葉書コレクション」、 「中ノ島遺跡～半世紀のあゆみ」
身近な動植物 紹介企画コーナー	昆虫標本や植物写真パネルを春・夏・秋・冬のシーズンにあわせ4回～5回の展示更新を行い広く市民に紹介する。	4月～3月 年6回開催
端野郷土資料の 収集・保存・展示	地域資料の適正な保存・管理を行う。	通年
資料館まつり	郷土史や文化財資料を鑑賞する機会の提供。	8/31 約200人

チェック項目		事業の成果	事業の課題	担当課
見学者は一定の数に達しているか	△	計画通り経年劣化した保護シートの交換を進め、適切な状態で車両の保存を行った。見学者数は高温注意報の発令により例年より減少した。	車両の経年劣化は避けられないが、今後も保護シートの更新等、必要な措置を講じる。	文化財課
保存状態は良好を維持できたか	○			
文化財の周知が図られているか	○	今では走っていないSLを間近で見ることができる貴重な資料となっている。冬期間はシートをかぶせ、適正な保存に努めている。	長年雨風に晒された状態が続いているため老朽化が進んでおり、車体の塗装が必要。案内看板等がなく、地元住民以外は気づきにくい。	留辺薬 生涯学習課
文化財が適正に維持管理されているか	△			
見学者は一定の数に達しているか	◎	例年通りの見学者数を維持しており、適切に保存・公開できた。	公開については引き続き所有者と連携をとり、現行体制を維持する。	文化財課
保存状態は良好を維持できたか	○			
文化財の保護が適正に行われているか	◎	草刈り等、適正な維持管理に努めている。	引き続き良好な状態の維持に努める。	端野町歴史 民俗資料館
入館者は一定の数に達しているか	◎	蒸溜の仕組みを見るだけでなく、香りを体験することで、見学者により強く印象付けられた。	今年度薄荷蒸溜装置の更新を行い、安定した蒸溜実演を図れることとなった。ハッカ畑は連作障害があり、解消の方策を探る必要がある。	文化財課
広く周知されいつでも観覧できる事業となっているか	◎			
入館者の満足が得られているか	◎			
予定展示変え回数を行えたか	◎	長期休暇の時期に合わせ展示替えをするなど多くの市民に見学の機会を提供できた。	展示替え期間の縮小に努める、継続的な実施に努める。	北網圏北見 文化センター
市民に広く周知されているか	○			
予定展示変え回数を行えたか	◎	常設展示のマンネリ化を防ぎ、豊かな自然の多様性を理解してもらった。	植物写真のパネル額のネジ穴の摩耗が激しく、固定がのための修繕が必要。	
市民に広く周知されているか	○			
収集資料が適正に保存・管理されているか	◎	適正な保存・管理に向け、収集記録票の整理とともに、PDFによるデータ保存を行った。	収集資料について、今後とも適正な保存・管理に努める。	端野町歴史 民俗資料館
参加者が増加しているか	○	地元産の素材による、手焼きせんべい・カルメ焼き・いも煮を味わうと共に、木工・薄荷蒸溜の実演や、そばの脱穀などを体験し、更に文化財資料等を通して郷土の歴史や自然に触れることが出来た。	資料館を身近に感じてもらえるよう内容を検討し、充実させる。	
ボランティアとの連携は十分に図られているか	◎			
自然や歴史に対して興味や関心を持つ機会となっているか	◎			

事業名	事業主旨	H31(R1)実績
郷土資料展示コーナー	図書館所蔵、借用資料を活用して開拓・歴史・自然などテーマ別にコーナー展示や展示会を通して、地域住民の地域史の関心を高めるとともに資料発掘・収集の機会とする。	通年
地域資料のデータベース化事業	各種地域資料のデジタル化とデータベース化の充実を図り、ホームページ上の公開、端末による閲覧を通して資料の提供に努める。	通年 広報写真、 総合年表・テーマ別年表ほか
常呂郷土資料の収集・保存・展示	常呂町郷土資料館を開拓期以降の常呂地域の歴史・文化を学ぶ拠点として位置づけ、資料の収集、保存、展示と聞き取り等の調査を進める。	郷土資料の台帳整理
常呂町郷土研究同好会活動の支援	郷土の自然、歴史、文化を後代に伝える活動(調査・記録・普及)を支援する。	「ところ文庫」 36号の刊行
開拓資料の収集保存	失われつつある開拓資料を発掘、収集、保存に努める。	入館者140人
殉難者追悼碑・記念碑等周辺整備	自治区内の追悼碑や記念碑周辺の除草・草刈りを行う。	春・秋草刈実施

埋蔵文化財の調査、研究、保護の推進

事業名	事業主旨	H31(R1)実績
埋蔵文化財保護事業	市内に所在する遺跡について適切な保護を図るため、所在確認・範囲確認調査を行う。	冬季以外実施。 本年度予定の調査を完了。
美里洞窟保存管理	道内でも稀な洞窟遺跡を保存・公開する。	7月～11月公開 (冬季間は積雪のため公開不可)
遺跡所在調査・試掘調査	開発と遺跡・埋蔵文化財の保護を調整し、破壊・改変される遺跡については記録保存を行う。	事前協議3件 所在調査1件 (36箇所)

チェック項目		事業の成果	事業の課題	担当課
地域史に対する興味や関心を持つ機会となっているか	○	市民の目に触れる展示を通して、地域史への関心が高まるよう幅広い年齢層を対象に資料提供等も行っている。	今後も内容の充実を図る。	常呂図書館
資料の収集・保存が図られているか	○	常呂図書館ホームページ上でのデータベースも増え、市民はもとより道内道外広くの方の地域資料の活用につながっており、道立図書館への資料提供も行っている。	今後とも地域資料のデジタル化保存、及び情報提供のノウハウを蓄積することが必要である。	
資料の収集・保存が図られているか	○	常呂町郷土資料館収蔵資料の再整理を行い、展示資料について管理番号の付与と台帳作成を実施した。	常呂町郷土資料館の資料収蔵スペースが不足しつつあることが課題となっている。	ところ遺跡の森
展示・調査の充実が図られているか	○			
各種行事での協力が図られているか	○	ふるさと芸術祭における郷土研究同好会の展示を支援した。	常呂町郷土研究同好会会員の高齢化と減少が進んでいる。	
郷土の自然、歴史、文化の記録化が図られているか	○			
開拓資料の保存等を積極的に行っているか	○	地域住民に開錠・施錠及び清掃について委託しており、資料の保存に努めている。市外からの来館者も多く、開拓時代の生活を今に伝える貴重な資料となっているが、郷土研究会の活動が停滞しており、十分な改善対応には至っていない。	資料館の整備方針と郷土資料収集整備の方針を明確にしていく。	留辺蘂 生涯学習課
文化財の情報提供が行われているか	○			
文化財が適性に維持管理されているか	◎			
文化財の情報提供が行われているか	○			

チェック項目		事業の成果	事業の課題	担当課
事案の現地調査を行えたか	◎	所在確認・範囲確認調査について随時対応を行い、試掘調査・工事立会等も年度内に調査を完了した。	試掘調査が必要となった場合には予算措置用の関係から迅速な対応が難しく、調査体制の強化が必要である。	文化財課
回答に沿った措置を行えたか	◎			
見学者は一定の数に達しているか	◎	ホームページなどで洞窟の周知を行い、公開を進めた。	災害後などの道路状況に注意し、適宜周知が必要。	
保存状態は良好を維持できたか	◎			
事前協議が行われているか	○	事前協議や所在調査を行い、遺跡・埋蔵文化財の適切な保護に努めた。	他の業務が多く、調査に十分な時間を確保できていない。	ところ 遺跡の森
所在確認調査・試掘調査が行われているか	○			

遺跡の保護維持活動の推進

事業名	事業主旨	H31(R1)実績
史跡常呂遺跡整備	国指定史跡常呂遺跡について基礎資料を整理し、整備を推進する。	史跡整備専門委員会会議2回、復元竪穴住居再建工事1軒
ところ遺跡の森運営管理	常呂遺跡の一部である「ところ遺跡の森」を維持管理し、地域の歴史を学び体験する場として運営する。	ところ遺跡の森入場者約7千人(うち遺跡の館入館者3,195人)
古代の歴史を知る体験学習	実際の遺跡・遺物から古代の生活や文化を学び、勾玉・土器・石器作り等を通じて体験する。	勾玉作り54人 土器作り45人 レクチャー1,065人
遺跡発掘体験	遺跡の発掘調査を体験し、遺物・遺構に触れながら郷土の歴史を学ぶ。	参加者10人

世界文化遺産登録活動の推進

事業名	事業主旨	H31(R1)実績
常呂遺跡世界遺産登録推進	常呂遺跡の世界遺産登録へ向けた取組みを通じて、遺跡・埋蔵文化財の保存・活用を推進し、その価値を高める。	大島1・大島2遺跡発掘調査(8/20～9/30)、常呂遺跡リーフレット中国語版作成

自然保護活動の推進

事業名	事業主旨	H31(R1)実績
楽しい自然観察会	身近な動植物を通じて、郷土の自然に親しみ郷土を愛する心を育む	5/26～9/29 計4回 参加者数延べ107人
夏休み自然体験教室	身近な動植物を題材にして知的な好奇心と科学的思考力を高め主体的に課題を解決する方法を学ぶ自然体験学習。	7/28・8/11 計2回 参加者延べ18人
クリーンアップワッカ	オホーツク大学自治会活動のボランティア活動として実施し、自然環境の保全を学ぶ場とする。	6/7 71人

チェック項目		事業の成果	事業の課題	担当課
資料整理が図られているか	○	史跡常呂遺跡整備基本計画及び基本設計を策定し、ところ遺跡の森復元竪穴住居(続縄文時代6号住居)再建工事を完了した。	構想・計画に基づく整備を着実に進めるための組織体制の充実を図る必要がある。	ところ 遺跡の森
基本構想・基本計画の策定が行われているか	○			
草刈・樹木処理及び施設・設備維持補修が行われているか	○	草刈・樹木処理とともに、植物を紹介する標識の設置を行い、自然についての関心への対応を図った。また、ところ遺跡の館の映像音響設備等の改修を実施した。	腐朽・破損が進行した復元竪穴住居の再整備の必要がある(令和元年度までに2軒を再建済)。	
開催数が増加しているか	○	学校の児童・生徒数が減少する中で、一定の参加者数を維持し、体験学習の場を提供できた。	施設が小規模で職員も少ないことから、全ての希望への対応は困難である。	ところ 遺跡の森
内容の充実が図られているか	○			
参加者の満足が得られているか	○			
参加数が増加しているか	○			
内容の充実が図られているか	○	遺跡見学会と土器拓本の体験講座として実施し、郷土の歴史について学ぶことができた。	発掘を体験してもらった方たちの経常的な実施は困難なため、今後の実施内容の再検討が必要である。	

チェック項目		事業の成果	事業の課題	担当課
遺跡調査が行われているか	○	東京大学との協力のもと大島1遺跡・大島2遺跡の発掘調査を実施した。常呂遺跡の広報資料として中国語版リーフレットを作成した。既存の発掘資料の公開活用をはかるため、文化庁・道教委の指導を受けて重要考古資料の整理作業を実施した。	他の自治区(端野・北見・留辺蘂)への情報発信・普及。	ところ 遺跡の森
情報発信・普及が図られているか	○			

チェック項目		事業の成果	事業の課題	担当課
参加者は一定の数に達しているか	◎	流域全体の連環と多様性豊かな自然の理解を促進したが、人気の講座が大雨による中止で参加者数は減少した。	指導者の高齢化、固定化により海洋、高山など新分野の調査研究が未実施のため事業のための教材化が進んでいない。	北網圏北見 文化センター
適切な学習プログラムを実行しているか	◎			
参加者の満足が得られているか	◎			
参加者は一定の数に達しているか	○	募集人数を減らしたため、より深く体験する機会を提供できた。	標本作成は小学校中・高学年のプログラムのため、参加者の低年齢化に伴う対応プログラムを検討している。	常呂町公民館
適切な学習プログラムを実行しているか	◎			
参加者の満足が得られているか	◎			
参加者が増加しているか	○	自然環境の保全と異なる世代との交流が図られた。	高齢者にとって作業内容がきつい傾向にあり、体力に見合った方が参加しており、参加者数は横ばいとなっている。継続していきたい。	
他部署との連携が図られているか	○			

IV 歴史と風土に根ざし次世代につなげる地域文化活動の推進

2. 歴史と自然の保護活動の推進

(2)文化遺産の保存と活用

文化財に関する調査研究と報告物の刊行

事業名	事業主旨	H31(R1)実績
北見市動植物相調査	自然調査事業として、博物館教育、天然記念物などの文化財保護に必要な基礎データの収集を目的に実施。	5/20～8/26 計7回 参加者数 延べ26人
地域文化デジタル化事業	国立科学博物館のS-Net(地球規模生物多様性情報機構)にデジタル化した収蔵標本資料情報を提供、ウェブ上への登録公開により市民との情報共有を図り、郷土研究、地域学習を推進する。	5/14～12/24
「北見博物館研究報告」刊行	北見市の歴史・文化・自然に関わる資料の調査研究成果を公開し、その価値をより広く市民に知らしめる。	3月20日刊行300部中272部を関係機関に配布。
オオワシ・オジロワシ調査	北海道・東北地区での一斉生息調査に参加協力する。	2/23
カタクリ調査	カタクリの保護を目的とした調査・研究を行う。	4/30～5/1・5/8
文化財の調査・研究	郷土の貴重な文化財の保存に向け、文化財保護条例に基づき調査・研究を行う。	未実施

文化財を保存・活用するための施策の充実

事業名	事業主旨	H31(R1)実績
カタクリの保全	カタクリ群生地及び周囲の森林の保全。	4/25～5/24
北海道指定天然記念物エゾムラサキツツジの保護	年々着花量が減少しているエゾムラサキツツジ群落を保護するため、草刈りや雑草の防除など維持管理を行う。	4～9月 エゾムラサキ ツツジ群落 保護業務委託により実施

文化財の指定と維持管理

事業名	事業主旨	H31(R1)実績
北見市文化財めぐり	北見市の歴史・自然・風土について、現地をめぐり、市民の理解を深める。	6/22・10/12 計2回実施 参加者合計35人
端野再発見講座	端野に関する自然・歴史に関する理解を得るための講座。	2019/2/15 21人
カタクリ観察会	市内外にカタクリ保護普及を図る自然観察会。	5/1～5/2 参加者数54人

チェック項目		事業の成果	事業の課題	担当課
計画どおり調査データが収集できたか	◎	令和元年度までに延べ動植物5,094種を確認し、北見市環境白書等で詳細を報告する。	合併により3.4倍となった調査範囲を網羅するには調査員の高齢化に伴い限界がある。	文化財課
新たな知見を得られたか	◎			
国立科学博物館にデータを提供できたか	◎	植物標本資料7,000件について期限までに提供することができた。	変換手数料で標本資料のデジタル化を進めるための作業用PCが不足している。	
予定通り原稿を集め調査研究成果を発表できたか。	◎	研究紀要は論文が1本と報告が2本掲載できた。また、論文の内容に則した新種化石のミニ企画展示も実施予定(4月1日～)で、話題性もあったといえる。	継続して紀要の刊行をするには執筆できる人材がいない。	
生息調査の成果があがっているか	○	常呂川日吉～常呂川河口、常呂川河口～サロマ湖キムアネツの区域を調査した。	常呂町郷土研究同好会の協力が難しくなりつつある。	ところ 遺跡の森
指定文化財の保護のための調査・研究が積極的に行われているか	◎	個体群動態調査・結果率調査を実施した。	調査・研究の成果を有効に利用する。	端野町歴史 民俗資料館
文化財の調査・研究が積極的に行われているか	-	専門的な知識が必要な部分もあり、十分な取り組みが行われていない状況にある。	留辺蘂教育事務所において文化財の調査・研究を専門とする職員が不在であり、人工的にも調査・研究に割くことができない。	留辺蘂 生涯学習課
文化財等の保護が適切に行われているか	-			

チェック項目		事業の成果	事業の課題	担当課
市指定文化財の保護・管理に有効な事業となっているか。	◎	カタクリ保護区域内に侵入する車両や人々をチェックし保全への啓発に努めた。	今後も保全に向け継続する。	端野町歴史 民俗資料館
文化財が適正に維持管理されているか	◎	遊歩道整備や草刈り等を委託して文化財を適正に維持管理している。つつじ山開放期間には、消防の協力のもと防火水槽を設置するほか、巡視を委託するなどし、防火体制を万全にしている。	天然記念物であるため、つつじ自体への手入れが困難なことから、剪定などができない状態にある。天候や開花状況にもよるが、開放時期の入山者数が減少傾向にある。	留辺蘂 生涯学習課
文化財の周知が図られているか	○			

チェック項目		事業の成果	事業の課題	担当課
参加者は一定の数に達しているか	○	本年度は2回実施。国指定史跡では網走のモヨロ貝塚に行くなど史跡常呂遺跡との違いを参加者の方々に周知できた。	さまざまなテーマを設定し、あきらめない工夫を行う。	文化財課
予定回数を開催できたか	◎			
受講者の満足が得られているか	◎	講師・参加者・職員ともに、過去のまちの歴史を語り残していくことの重要性を再認識する講座となった。	講座の実施に向け内容の検討を進める。	端野町歴史 民俗資料館
予定回数を開催できたか。	○	カタクリ群生地を散策し、開花を見ることにより、保全についてより深く理解が得られる機会となっている。	今後も保存公開に向け継続する。	

V 社会教育を充実させる学習環境づくりの推進

1. 社会教育施設の充実

(1) 社会教育施設の環境整備

スポーツ・文化施設の整備

事業名	事業主旨	H31(R1)実績
スポーツ施設等の管理運営	トレーニングセンター等の効率的運営を図るとともに、地域スポーツ振興のセンターとしての機能を位置付ける。	体育館 150,340人 パークゴルフ場 29,783人 プール 127,231人 他屋外施設 134,613人
スポーツ施設の整備	各種スポーツの普及拡大に伴い、市民及び関係団体等の要望を考慮したスポーツ施設の整備拡充及び長寿命化を図る。	市立体育センター 熱源・電気設備改修 3地区トレセン ボイラー更新 東陵公園陸上競技場 トラックフィールド改修 東陵公園野球場 ラバーフェンス改修
	旭運動公園や八方台パークゴルフ場などの屋外社会体育施設の維持管理業務全般に広く利用しているスポーツトラクターを更新し、利用者の快適な施設利用を図る。	スポーツトラクター更新
	老朽化が著しく危険な八方台森林公園内の木製大型遊具を撤去し、同公園利用者の安心・安全な利用を図る。	八方台森林公園木製大型遊具撤去工事
冬季スポーツ施設の整備充実	北見の長く厳しい冬季間を過ごす市民が、その特性を積極的に生かし、健康でたくましく充実したスポーツ活動を行うための条件整備に努める。	スケート 21,405人 スキー 254,052人
	八方台スキー場の圧雪車を更新し、利用者である市民や合宿で訪れるアスリート等の快適な利用環境の整備を図る。	圧雪車更新
屋外スポーツ施設利用調整会議	利用団体が集中する野球場等屋外スポーツ施設を効率的かつ円滑に活用するため利用調整会議を開催する。	利用調整会議出席 43団体 ・野球場(大会) 9団体 ・野球場(一般) 25団体 ・球技場(大会) 0団体 ・球技場(一般) 9団体 野球場・球技場利用者数 (東陵・モイワ除く) 30,078人(延べ)
北見カーリングホール建設	最先端スポーツ科学に基づく高度な競技力向上への支援能力を有する通年型カーリングホールを建設する。	(仮称)北見カーリングホール新築工事

チェック項目		事業の成果	事業の課題	担当課																																										
公平な利用が図られているか	○	統一された受付方法を継続することにより、運営の効率性、利用者の公平性を保った。	今後も要望等に応えるため、柔軟に対応する。	スポーツ課																																										
利用者の要望を反映しているか	○				利用者の要望を反映しているか	○	整備により、施設の良い状態の維持及び長寿命化が図られた。	今後も要望等に応えるため、柔軟に対応する。	安全性が保たれた施設整備が行われているか	○	利用者の要望を反映しているか	○	維持管理車両の更新により、快適で安心・安全な施設利用が図られた。	今後も要望等に応えるため、柔軟に対応する。	留辺薬 生涯学習課	安全性が保たれた施設整備が行われているか	○	利用者の要望を反映しているか	○	老朽化した木製大型遊具の撤去により、公演利用者の安心・安全な施設利用が図られた。	今後も要望等に応えるため、柔軟に対応する。	安全性が保たれた施設整備が行われているか	○	利用者の要望を反映しているか	○	整備により、施設の良い状態が維持された。	今後も更に市民に周知する術を考えながら、利用者の要望に応えるため。柔軟に対応する。	スポーツ課	安全性が保たれた施設整備が行われているか	○	利用者の要望を反映しているか	○	維持管理車両の更新により、快適で安心・安全な施設利用が図られた。	今後も要望等に応えるため、柔軟に対応する。	留辺薬 生涯学習課	安全性が保たれた施設整備が行われているか	○	公平な会議が進められているか	○	屋外施設が円滑に利用された。	事前に予約調整を行うことで効率的かつ円滑に会議を開催しているが、調整会議での団体が増えた場合、会議が混雑する可能性があるため、より効率的な調整方法を確立させる。	スポーツ課	利用者の要望を反映しているか	○	利用者の要望を反映しているか	○
利用者の要望を反映しているか	○	整備により、施設の良い状態の維持及び長寿命化が図られた。	今後も要望等に応えるため、柔軟に対応する。																																											
安全性が保たれた施設整備が行われているか	○				利用者の要望を反映しているか	○	維持管理車両の更新により、快適で安心・安全な施設利用が図られた。	今後も要望等に応えるため、柔軟に対応する。	留辺薬 生涯学習課	安全性が保たれた施設整備が行われているか	○	利用者の要望を反映しているか	○	老朽化した木製大型遊具の撤去により、公演利用者の安心・安全な施設利用が図られた。		今後も要望等に応えるため、柔軟に対応する。	安全性が保たれた施設整備が行われているか	○	利用者の要望を反映しているか	○	整備により、施設の良い状態が維持された。	今後も更に市民に周知する術を考えながら、利用者の要望に応えるため。柔軟に対応する。	スポーツ課	安全性が保たれた施設整備が行われているか	○	利用者の要望を反映しているか	○	維持管理車両の更新により、快適で安心・安全な施設利用が図られた。	今後も要望等に応えるため、柔軟に対応する。	留辺薬 生涯学習課	安全性が保たれた施設整備が行われているか	○	公平な会議が進められているか	○	屋外施設が円滑に利用された。	事前に予約調整を行うことで効率的かつ円滑に会議を開催しているが、調整会議での団体が増えた場合、会議が混雑する可能性があるため、より効率的な調整方法を確立させる。	スポーツ課	利用者の要望を反映しているか	○				利用者の要望を反映しているか	○	利用者の要望を可能な限り応え、施設の良い状態を維持するため、整備を行っている。	今後の運営については、要望等に応えるため、柔軟に対応する
利用者の要望を反映しているか	○	維持管理車両の更新により、快適で安心・安全な施設利用が図られた。	今後も要望等に応えるため、柔軟に対応する。	留辺薬 生涯学習課																																										
安全性が保たれた施設整備が行われているか	○				利用者の要望を反映しているか	○	老朽化した木製大型遊具の撤去により、公演利用者の安心・安全な施設利用が図られた。	今後も要望等に応えるため、柔軟に対応する。		安全性が保たれた施設整備が行われているか	○	利用者の要望を反映しているか	○	整備により、施設の良い状態が維持された。	今後も更に市民に周知する術を考えながら、利用者の要望に応えるため。柔軟に対応する。	スポーツ課	安全性が保たれた施設整備が行われているか	○	利用者の要望を反映しているか	○	維持管理車両の更新により、快適で安心・安全な施設利用が図られた。	今後も要望等に応えるため、柔軟に対応する。	留辺薬 生涯学習課	安全性が保たれた施設整備が行われているか	○	公平な会議が進められているか	○	屋外施設が円滑に利用された。	事前に予約調整を行うことで効率的かつ円滑に会議を開催しているが、調整会議での団体が増えた場合、会議が混雑する可能性があるため、より効率的な調整方法を確立させる。	スポーツ課	利用者の要望を反映しているか	○	利用者の要望を反映しているか	○				利用者の要望を可能な限り応え、施設の良い状態を維持するため、整備を行っている。	今後の運営については、要望等に応えるため、柔軟に対応する							
利用者の要望を反映しているか	○	老朽化した木製大型遊具の撤去により、公演利用者の安心・安全な施設利用が図られた。	今後も要望等に応えるため、柔軟に対応する。																																											
安全性が保たれた施設整備が行われているか	○				利用者の要望を反映しているか	○	整備により、施設の良い状態が維持された。	今後も更に市民に周知する術を考えながら、利用者の要望に応えるため。柔軟に対応する。	スポーツ課	安全性が保たれた施設整備が行われているか	○	利用者の要望を反映しているか	○	維持管理車両の更新により、快適で安心・安全な施設利用が図られた。	今後も要望等に応えるため、柔軟に対応する。	留辺薬 生涯学習課	安全性が保たれた施設整備が行われているか	○	公平な会議が進められているか	○	屋外施設が円滑に利用された。	事前に予約調整を行うことで効率的かつ円滑に会議を開催しているが、調整会議での団体が増えた場合、会議が混雑する可能性があるため、より効率的な調整方法を確立させる。	スポーツ課	利用者の要望を反映しているか	○	利用者の要望を反映しているか	○				利用者の要望を可能な限り応え、施設の良い状態を維持するため、整備を行っている。	今後の運営については、要望等に応えるため、柔軟に対応する														
利用者の要望を反映しているか	○	整備により、施設の良い状態が維持された。	今後も更に市民に周知する術を考えながら、利用者の要望に応えるため。柔軟に対応する。	スポーツ課																																										
安全性が保たれた施設整備が行われているか	○				利用者の要望を反映しているか	○	維持管理車両の更新により、快適で安心・安全な施設利用が図られた。	今後も要望等に応えるため、柔軟に対応する。	留辺薬 生涯学習課	安全性が保たれた施設整備が行われているか	○	公平な会議が進められているか	○	屋外施設が円滑に利用された。	事前に予約調整を行うことで効率的かつ円滑に会議を開催しているが、調整会議での団体が増えた場合、会議が混雑する可能性があるため、より効率的な調整方法を確立させる。	スポーツ課	利用者の要望を反映しているか	○	利用者の要望を反映しているか	○				利用者の要望を可能な限り応え、施設の良い状態を維持するため、整備を行っている。	今後の運営については、要望等に応えるため、柔軟に対応する																					
利用者の要望を反映しているか	○	維持管理車両の更新により、快適で安心・安全な施設利用が図られた。	今後も要望等に応えるため、柔軟に対応する。	留辺薬 生涯学習課																																										
安全性が保たれた施設整備が行われているか	○				公平な会議が進められているか	○	屋外施設が円滑に利用された。	事前に予約調整を行うことで効率的かつ円滑に会議を開催しているが、調整会議での団体が増えた場合、会議が混雑する可能性があるため、より効率的な調整方法を確立させる。	スポーツ課	利用者の要望を反映しているか	○	利用者の要望を反映しているか	○				利用者の要望を可能な限り応え、施設の良い状態を維持するため、整備を行っている。	今後の運営については、要望等に応えるため、柔軟に対応する																												
公平な会議が進められているか	○	屋外施設が円滑に利用された。	事前に予約調整を行うことで効率的かつ円滑に会議を開催しているが、調整会議での団体が増えた場合、会議が混雑する可能性があるため、より効率的な調整方法を確立させる。	スポーツ課																																										
利用者の要望を反映しているか	○																																													
利用者の要望を反映しているか	○				利用者の要望を可能な限り応え、施設の良い状態を維持するため、整備を行っている。	今後の運営については、要望等に応えるため、柔軟に対応する																																								

事業名	事業主旨	H31(R1)実績
ハッカ記念館 屋根改修の実施	市指定文化財であるハッカ記念館の保全と利用者の安全確保を図るため、屋根からの落雪・落水防止及び衝撃を緩和するための工事を実施する。	ハッカ記念館屋根改修工事実施
ピアソン記念館 軒天改修の実施	市指定文化財であるピアソン記念館の保全と利用者の安全確保を図るため、部材劣化、塗装剥落した軒天の改修を実施する。	ピアソン記念館軒天改修工事実施
プラネタリウム設備更新	開館から35年以上を経て、設備全体の劣化が著しく、補給部品も製造中止となっており、突然の運転停止が予想される。バリアフリー化も含め、設備全体の更新について検討を行う。	検討を継続中
文化センター カーボン・マネージメント 強化事業	熱源設備等を改修し、施設の利用環境改善と二酸化炭素排出抑制による地球温暖化防止を進める。	「改修工事実施設計委託」を実施
スポーツ施設 管理運営の一元化	体育館・弓道館・旭運動公園・八方台森林公園・八方台スキー場。	指定管理者 (株)オホーツク エンバイロメント
利用者の視点に立った サービスの充実	利用者ニーズの把握と顧客満足度の向上のため社会教育部各施設に意見箱を設置する。	意見数 106件 【東陵・モイワ・市立・各トレセン・プール・リンク】 市長への手紙ほか 6件
		なし
		なし
		ハッカ記念館 7件 ピアソン記念館 0件
		北網圏北見文化センター 26件
		22件
		2件
		なし
		なし

チェック項目	事業の成果	事業の課題	担当課
施設整備は行われたか	◎ 劣化部材取替、屋根葺き替え、雪留め設置等施工により、文化財の保全及び利用者の安全確保が高められた。	今後も随時、必要な改修整備を図っていく。	文化財課
施設整備は行われたか	◎ 軒天の劣化部材取替、塗装更新等施工により文化財の保全及び利用者の安全確保が高められた。	今後も随時、必要な改修整備を図っていく。	
検討は行われたか	○ 設備ごとの劣化状況の把握とそれに見合う投影機等の選定について検討した。	安全上、看過できない劣化状況となっているため、緊急の更新が望まれる。	北網圏北見文化センター
施設整備は行われたか	◎ 令和2年度工事施工に向けた、実施設計を行った。	本設計を踏まえ、令和2年度工事施工を予定する。	
管理団体と連携が図られているか	◎ 施設の管理運営一元化により、各施設の利用がスムーズに行われ、住民サービスの向上が図られている。	指定管理者と連携して利用者ニーズを的確に把握し、施設の管理運営の向上に努める。	留辺薬生涯学習課
管理運営が適切に行われているか	◎		
市民の意見を適切に把握し、スポーツ施設運営に反映しているか	○ 利用者の感想、要望等の傾向を把握し、施設管理運営に柔軟に対応している。	要望や意見が年々増えているため、柔軟に利用者の意見を聞き取り、施設の整備や運営に努める。	スポーツ課
市民の意見を適切に把握し、文化施設運営に反映しているか	○ 意見箱による意見投函実績はないが、個別・指定管理者からの施設運営に関する意見には柔軟に対応できた。	継続する。	生涯学習課 (開成ふるさと工芸館)
市民の意見を適切に把握し、文化施設運営に反映しているか	○ 意見箱による意見投函実績はないが、個別意見には柔軟に対応できた。	継続する。	中央公民館 (市民会館、芸術文化ホール)
市民の意見を適切に把握し、博物館施設運営に反映しているか	◎ 利用者の感想、要望等の傾向を把握し、施設管理運営に柔軟に対応している。	今後も継続する。	文化財課 (ハッカ・ピアソン記念館)
市民の意見を適切に把握し、博物館施設運営に反映しているか	◎ 利用者の感想、要望等の傾向を把握することができた。なお、各種事業の際は別途、アンケート調査も実施している。	今後も継続する。要望面では、展示・トイレ・年間パスポート等あり。年間パスポートはR2に実施導入。	文化財課 (北網圏北見文化センター)
市民の意見を適切に把握し、図書館施設運営に反映しているか	○ 利用者からの要望・意見等を適切に把握し、図書館サービスの向上を図った。	対応可能なものは、意見・要望を取り入れていくが施設的に対応できないこともある。	中央図書館
市民の意見を適切に把握し、図書館施設運営に反映しているか	○ 意見箱を設置し、市民の意見等を参考に施設運営をしている。	今後も継続。	留辺薬図書館
市民の意見を適切に把握し、施設運営に反映しているか	○ 意見箱を設置し、意見の把握に努めている。その他、口頭での意見などには予算の範囲内で柔軟に対応している。	継続する。	常呂生涯学習課
市民の意見を適切に把握し、各施設運営に反映しているか	○ 所管する施設に意見箱を設置し、利用者意見を反映した施設運営に努めている。	今後も意見箱の設置を継続する。	留辺薬生涯学習課

V 社会教育を充実させる学習環境づくりの推進

1. 社会教育施設の充実

(2) 社会教育施設の管理運営体制の充実

指定管理者との連携

事業名	事業主旨	H31(R1)実績
ハッカの日	毎月第3日曜日を「ハッカの日」として位置付け、北見のハッカの香りの文化とロマンを体感してもらう。9月にはコンサートを実施し拡大して事業を行う。	毎月第3日曜日実施
ハーブ収穫祭	敷地内のハーブを市民に直接収穫していただき差し上げる。各種ハーブの使用方法について説明をする。	8月4日
ハッカ記念館ライトアップ	バレンタインデーの前後にハッカ記念館をライトアップする。	2月15日～27日
Noel 2019 (クリスマスイベント)	クリスマスイベントとして、体験コーナー、プレゼント配布、コンサートを行う。	12月14日
ミントの日	3月第3日曜日を「ミントの日」として、薄荷蒸溜実演、ミントティーサービスを行う。	3月17日
ピアソン記念館 グリーンコンサート	ピアソン記念館テラスを舞台に野外コンサートを開催する。	7月7日 出演5団体
サロンdeピアソン	講習会・映画会・コンサート等 計4回実施	8月17日 9月7日 9月28日 11月24日
博物館施設の管理運営	市民に親しまれる博物館施設として、指定管理者による効率的な管理運営を図る。	3施設 北網圏北見文化センター 北見ハッカ記念館 ピアソン記念館

チェック項目		事業の成果	事業の課題	担当課
館の利用促進に効果をあげているか	◎	広く周知され、定期的に来館する市民も多い。またミント製品グッズ提供は好評で、満足度も高い。	マンネリ化を防ぐため、内容の更新・変更も常に行っているが、新たな展開構築も今後必要と考えられる。	文化財課
市民に広く周知されているか	◎			
入館者の満足が得られているか	◎			
館の利用促進に効果をあげているか	◎	広く周知され、定期的に来館する市民も多い。ハーブ収穫体験とミントティー提供は好評で、満足度も高い。	夏の暑い時期の実施で、料理の提供は食品衛生上、困難である。	
市民に広く周知されているか	◎			
参加者の満足が得られているか	◎			
館の利用促進に効果をあげているか	◎	ライブコンサートと同時開催で集客効果は高い。	アイスクャンドル製作は市民にも呼びかけ、持ち寄ってくれた方もいたが、依然、職員等の負担が大きい。	
館の利用促進に効果をあげているか	◎	3回目を迎え、市民への周知も広がっている。暖かい飲み物の提供、冬の花火の配布など、好評を得ている。	内容が定着し親しまれる中、新しい企画を展開するために、内容の精査が必要となっていく。	
市民に広く周知されているか				
参加者の満足が得られているか				
館の利用促進に効果をあげているか	◎	広く周知され、定期的に来館する市民も多い。ミントグッズ等提供は好評で、満足度も高い。	マンネリ化を防ぐため、内容の更新・変更も常に行っているが、新たな展開構築も今後必要と考えられる。	
市民に広く周知されているか	◎			
市民の満足が得られているか	◎			
館の利用促進に効果をあげているか	◎	多くの聴衆が集まり、演奏を楽しんでもらえた。参加者335人	野外で行うため、天候に左右されること、敷地の都合で拡大できないことが悩みである。	
広く市民に周知されているか	◎			
参加者の満足が得られているか	◎			
館の利用促進に効果をあげているか	◎	彩な事業で、ピアソン記念館のイメージアップや新規利用者開拓にもつながっている。	広く、市民に周知して、新規利用者の拡大を図る。	
市民に広く周知されているか	◎			
参加者の満足が得られているか	◎			
住民サービスの向上が図られているか	◎	指定管理者と市所管との連携ももちながら、いずれの施設とも手堅い管理、自主事業等で充実が図られた。	各施設の基本的維持管理。運営にとどまらず、機能面での充実も進める。	
利用者の満足が得られているか	◎			
指定管理者制度の効果が表れているか	◎			

事業名	事業主旨	H31(R1)実績
ロビーコンサート	各種団体等に発表の機会を提供し、育成振興を図る。	10回実施 743人
サヨナラコンサート	市内及び近郊の吹奏楽団が一堂に会し、音楽を創る喜びと鑑賞の機会を提供する。	12/15 出演22団体 880人
芸術・文化施設の管理運営	市民に親しまれる芸術・文化施設として、指定管理者による効率的な管理運営を図る。	来館者 【開成】7,029人
		来館者 【北網圏】49,471人 【ハッカ】23,690人 【ピアノソ】7,107人
		来館者 【市民会館】179,668人 【芸文】116,436人

チェック項目		事業の成果	事業の課題	担当課
広く市民に周知されているか	○	昨年度の2倍となる実施回数であると共に、観覧者も増加した。	芸術・文化活動が更に活性化するよう参加者募集の取組や、集客を見込めるような企画を検討することが必要。	中央公民館
開催数は増加しているか	○			
観覧者は増加しているか	○			
広く市民に周知されているか	○	入場者数は同程度で推移している。普段交流機会の少ない市内吹奏楽愛好家の情報交換・相互研鑽の場として参加者の満足度は高い。	更に活性化するよう新たな参加者募集の取組が必要。	
入場者数は増加しているか	○			
施設の効率的な運営ができていますか	○	施設が老朽化しているが、限られた予算の中で修繕や、利用者の要望に応えるよう設備の充実を図っている。	新規利用団体を開拓し、利用者の増を図る必要がある。	生涯学習課
利用者の満足が得られているか	○			
施設の効率的な運営ができていますか	◎	施設が老朽化しているが、限られた予算の中で修繕や、利用者の要望に応えるよう設備の充実を図っている。	新規利用団体を開拓し、利用者の増を図る必要がある。	文化財課
利用者の満足が得られているか	◎			
施設の効率的な運営ができていますか	○	施設が老朽化してきているが、指定管理者からの修繕等依頼や利用者の要望を聞き入れながら、限られた予算の中で、設備の充実を図っている。	新規利用団体を開拓し、利用者の増を図る必要がある。	中央公民館
利用者の満足が得られているか	○			

V 社会教育を充実させる学習環境づくりの推進

1. 社会教育施設の充実

(3) 社会教育施設機能の充実

社会教育展示施設の企画や展示内容の充実

事業名	事業主旨	H31(R1)実績
文化センター 博物常設展示更新	開館から30年を経過し、ソフト・ハードとも古くなった常設展示について、更新の検討を行う。	検討を継続中
文化センター 科学常設展示更新	開館から35年以上を経て、科学展示の内容が陳腐化しており、機材も著しく劣化していることから、今後の科学展示のあり方や設備更新について検討を行うとともに平成31年度に常設美術展示室設置に合わせ、科学展示の一部を更新する。	R2年度、常設美術展示室の開設と同時に一部展示替えを実施
留辺薬町開拓資料館 整備事業	留辺薬町開拓資料館の老朽化に伴う整備事業。	北見市留辺薬町開拓資料館整備に伴う実施設計を実施

常設美術展示室の設置

事業名	事業主旨	H31(R1)実績
常設美術展示室の設置	北網圏北見文化センターが所蔵する美術作品や資料を常時展示できる場として、同館の一部で改装工事を実施し、常設美術展示室を設置した。	2019(令和元)年度に常設美術展示室の設置工事が完了し、令和2年度初めから公開開始

チェック項目		事業の成果	事業の課題	担当課
検討は行われているか	○	鉄道展示追加・冬山造材のジオラマ展示など部分的な展示改修は個別に実施したが、全体計画は他館との役割分担も含め、検討が必要である。	設備等と連動しての整備が必要である。	北網圏北見文化センター
検討は行われているか	○	将来的な科学展示のあり方について検討を進めている。また、常設美術展示室設置に伴う科学展示の再配置、更新を計画する。	科学への興味関心の育成に適した展示物の設置や利用しやすい環境を整える必要がある。	
老朽化に伴う整備事業の実施設計の実施	◎	令和2年度内への開拓資料館整備に向け具体的な実施設計を行った。	令和2年度の整備に向け、特徴ある留辺薬開拓資料館などの内容について検討が必要である。	留辺薬生涯学習課

チェック項目		事業の成果	事業の課題	担当課
検討は進んでいるか	◎	設置工事が完了し、30点前後の作品を常時展示できる展示室が完成した。	今後、年に3回程度の展示替えを実施できるよう、展示計画を立て運用していく。	北網圏北見文化センター
実施スケジュールを提示できるか	◎			

V 社会教育を充実させる学習環境づくりの推進

2. 社会教育推進体制の整備

(1) 委員会審議会等の活動充実

各種委員会審議会機能の活性化

事業名	事業主旨	H31(R1)実績
社会教育委員の会議	教育委員会の諮問機関として、社会教育行政に広く地域の意見等を反映させるため、提言等を行う。	4回開催 延べ56人出席
社会教育委員研修事業	各種研修会への派遣及び自主学習会等の開催を通して、社会教育委員の研鑽と相互交流を図る。	研修派遣5回 11人
文化財審議委員会	広く文化財全般について、保護・収集・活用の指針をいただく。	3回開催
史跡整備専門委員会議	史跡常呂遺跡の保存・活用及び整備に関する議論を通じて、地域の歴史や文化財が持つ魅力の発見と活用を図り、史跡整備基本計画等の策定を目指す。	2回開催
公民館運営審議会	館長の諮問に応じ、公民館における各種の事業の企画実施につき調査審議する。	2回開催
北見市民ホール 自主文化事業選定委員会	市民ホール自主文化事業の選定に市民の意見を反映させ、芸術文化の振興を図る。	3回開催
北見市図書館協議会	図書館長の諮問に応ずるとともに、図書館サービスや運営に対する意見を述べ、北見市の図書館振興に資する。	委員10人 2回開催

チェック項目		事業の成果	事業の課題	担当課
委員の意見の反映はなされているか	◎	会議で意見を述べることは、社会教育委員の重要な職務の一つであり、会議での意見については、会議録を残すとともに、社会教育事業を展開していく上での参考になっている。	社会教育委員は、社会教育計画の立案・評価者であるとともに、社会教育事業を担うことが期待されていることから、事務局担当者との連携を密にし、社会教育委員個人の組織・団体・人間関係を生かした主体的な活動が求められる。	生涯学習課
各種研修会等について情報提供されているか	◎	研修会に参加した委員は、研修内容を報告し、委員間での情報を共有している。	未参加委員の研修派遣	
予定回数を開催できたか	◎	通常議案の審議・検討のほか、耐震予備診断結果を報告し、協議を行った。	補修が必要となる文化財の保全について、今後更に検討を進める必要がある。	文化財課
委員の意見の反映はなされているか	◎			
委員の意見の反映はなされているか	○	史跡常呂遺跡の東端区域(トコロチャシ跡遺跡群)を中核とした整備の基本計画及び基本設計を策定した。	構想・計画に基づく整備を着実に進める必要がある。	ところ 遺跡の森
基本構想・基本計画の策定が行われているか	○			
委員の意見の反映はなされているか	○	北見市公民館条例、公民館管理規則に規定する審議会委員は、学校、社会、家庭教育の関係者、学識経験者、公募による者から構成され、幅広い見識による運営が図られている。	委員会の意見について、適時対応が図られている。課題として、公民館講座や市民ホールに関することが挙げられた。また、意見等をいただきながら、高齢者大学院を設置した。	中央公民館
委員の意見の反映はなされているか	○	自主文化事業の選定において、行政が一方的に決めず、委員会の意見を反映させながら行っている。	委員会の意見について、適時対応が図られているため、特に課題は無し。	
委員の意見の反映はされているか	◎	図書館協議会において出された意見を図書館サービスに反映させている。	引き続き委員へ情報提供を行い、今後も図書館運営・サービスの意見を求める。	中央図書館

事業名	事業主旨	H31(R1)実績
地区別社会教育推進会議	自治区内の社会教育の振興、学習機会の提供を図る。	委員6人 6回 開催
		12/23開催 委員6人
		3/12開催 9人出席
地区別公民館運営委員会	自治区内の公民館活動の振興についての協議を行う。	6回(端野)
		12/23開催 委員6人
		3/12開催(留辺蘂) 9人出席

チェック項目		事業の成果	事業の課題	担当課
委員の意見の反映はなされているか	◎	主に文化鑑賞事業や公民館講座の協議提案をし、委員の意見を参考に事業を実施した。	社会教育の推進を図るため、継続すると共に委員の増員を目指す。	端野 生涯学習課
委員の意見は反映されているか	○	常呂自治区での事業への意見などを聴取し、事業へ反映した。	継続する。	常呂 生涯学習課
委員の意見の反映はなされているか	○	事業報告と翌年の事業計画についての協議を行い、その中で要望等も出してもらい反映した。	社会教育の推進を図るため、今後も継続して会議を実施する。	留辺蘂 生涯学習課
委員の意見の反映はなされているか	○	社会教育推進会議の中で公民館関連事業等の協議を兼ねて行い、公民館活動に反映した。	引き続き委員への情報提供を行う。	端野町 公民館
委員の意見は反映されているか	○	常呂自治区での事業への意見などを聴取し、公民館活動に反映した。	継続する。	常呂町 公民館
委員の意見の反映はなされているか	○	社会教育推進会議と併せての開催。公民館活動についても様々な意見が出ており、公民館運営に反映した。	公民館活動の推進を図るため、今後も継続して会議を実施する。	留辺蘂町 公民館

V 社会教育を充実させる学習環境づくりの推進

2. 社会教育推進体制の整備

(2) 専門職員等の資質向上を目指す研修機会の充実

図書館職員研修への参加

事業名	事業主旨	H31(R1)実績
図書館職員研修事業	図書館職員の資質の向上や各館の連携・充実を図るため職員研修(司書部会などの専門職研修等)を実施するとともに、各種研修会等への職員派遣。	研修会派遣3回

社会教育主事、学芸員専門講座・研修会への参加

事業名	事業主旨	H31(R1)実績
北見地区広域社会教育推進協議会事業	社会教育関係職員による各研究委員会の開催を通して、地域の課題等を研究討議し、広域的な社会教育の推進に寄与する。	社会教育研究委員会 6回実施
		社会体育研究委員会 6回実施

チェック項目		事業の成果	事業の課題	担当課
資質の向上が図られているか	◎	図書館の運営やサービス向上のための各種研修会に参加し、スキルアップを図ることができた。	研修内容の充実を図り、各種研修会へ多くの職員を派遣する必要がある。	各図書館
研修の成果が活かされているか	◎			
専門職等の研修機会が確保されているか	◎			

チェック項目		事業の成果	事業の課題	担当課
テーマに沿った活動内容となっているか	◎	社会教育研究委員会テーマを「北見地区における青少年の防災教育」として、北見地区の青少年を対象とした防災教育事業実施に向けた研究協議をおこなった。研究委員同士で意見交流を行い、子どもの目線に合わせた内容を考察した。		生涯学習課 端野・常呂・留辺蘂 生涯学習課
近隣町との交流は図られているか	◎			
研究の成果を活かしているか	◎			
テーマに沿った活動内容となっているか	○	『食とれ～“食”事で疲れを“と”れ～ 「食事から学ぶ心と体の健康」』というテーマで1年間研究し、コンビニ商品を使いながら手軽に作れる疲労回復のための献立を作成した。	各市町で社会体育専門職の任用が難しい中、今後は社会教育主事を主とする「社会教育研究委員会」との合同研究も視野に入れ活動する必要がある。	スポーツ課
近隣町との交流は図られているか	○			
研究の成果を活かしているか	○			
市町民へ事業内容が還元されているか	○			
社会教育の広域化の連携が図られているか	○			

V 社会教育を充実させる学習環境づくりの推進

2. 社会教育推進体制の整備

(3) 社会教育指導者や社会教育団体の育成支援と活用

団体指導者情報の整備と活用

事業名	事業主旨	H31(R1)実績
施設ガイド、団体・指導者ガイドの作成	広く市民の生涯学習活動を促進・支援するため、「施設ガイド」と「団体・指導者ガイド」を交互に発行して活用を図る。	700部

自主的学習団体の活動奨励と支援

事業名	事業主旨	H31(R1)実績
マイプラン・マイスタディ事業	2人以上の市民グループ自らが企画・運営する講座等に対し、講師謝礼金を支援する。	【生命の教育を学ぶ】 6/26開催 市民会館小ホール 109人参加
		【Doする組織！？～コミュニティ運営の基本の「き」学びませんか～】 11/30開催 ナップスホール 57人参加
		0件
		1件 延べ84人
		5/17開催 【木田敦子 箏コンサート】 留辺薬商工会議所 75人参加 9/30開催 【サクソフォンチャリティーコンサート】 レストランエフ 44人参加

チェック項目		事業の成果	事業の課題	担当課
登録施設が増加しているか	◎	「施設ガイド」を発行(令和2年3月)し、市民の生涯学習活動を支援した。	隔年交互の発行のため、タイムリーな情報になっていない場合もある。施設ガイドの掲載施設について精査が必要。	生涯学習課

チェック項目		事業の成果	事業の課題	担当課
市民に周知されているか	◎	より現代社会における課題にマッチする演題に変更するなど、企画者が真剣に事業に取り組み、率先して行動しており、自主的な学習活動への展開が期待できる。	2回とも講演会であったが、前年度に比べて参加者は増加した。参加者を増やすことだけが成果ではないが、体験型の企画なども検討する必要がある。	生涯学習課
参加者は増えているか(企画者・事業参加者)	◎			
事業趣旨に合った内容となっていたか	◎			
市民に周知されているか	◎	活動を促すために広報活動を行っているが、相談はあったが事業実施には至らなかった。	地域づくりやまちづくりに関する支援の必要な事例や出来事にたくさんさんのアンテナを張り、その活用を促すためHPや広報誌などの広報活動しながら体制を強化する必要がある。	端野 生涯学習課
参加者は増えているか(企画者・事業参加者)	-			
事業趣旨に合った内容となっていたか	-			
市民に周知されているか	○	社会教育情報誌「ふっくらぽけっと」で事業周知し、市民の認知度が上がってきている。市民の学習意欲を手助けできる事業となっている。	今後も住民周知を行い、市民の学習意欲を手助けする。	常呂 生涯学習課
参加者は増えているか(企画者・事業参加者)	○			
事業趣旨に合った内容となっていたか	○			
市民に周知されているか	◎	コンサートの開催を支援することで、良質な音楽鑑賞の機会を提供できた。	今後も住民周知を行い、住民の学習意欲をバックアップすることが重要である。	留辺蘂 生涯学習課
参加者は増えているか(企画者・事業参加者)	○			
事業趣旨に合った内容となっていたか	◎			

事業名	事業主旨	H31(R1)実績
社会教育関係団体 育成事業	北見市の社会教育推進を目的として、各社会教育関係団体が実施する事業の経費の一部を補助し、各団体活動を支援する。	北見市PTA連合会 558,000円 北見市文化連盟協議会 1,800,000円
北見市PTA広報紙 作り方講習会	PTA広報紙の構成・編集などの知識と技術向上を図るとともに、各校の広報担当者の交流を深める。	5/24 芸文大練習室 7校 15人参加
北見市PTA広報紙 コンクール	応募作品審査会を行い、各入賞校を決定。該当校の表彰式・座談会も開催する。(全道コンクールへ出品)	参加校 15校
北見市女性国内研修事業	全国規模の交流フォーラムへの参加を通して、社会的視野を広げ、女性リーダーの養成を行う。	8/28～31 3泊4日 4人派遣
陶芸指導員研修会	陶芸指導員の技術向上及び各窯元と親睦を図る。	35人

チェック項目		事業の成果	事業の課題	担当課
団体による社会教育推進活動が活発に行われているか	◎	北見市PTA連合会研修会および北見市文化連盟協議会への補助を執行し、それぞれの事業充実に支援している。	各団体ともに、更なる事業充実に向けて、協議・交流を図っていききたい。	生涯学習課
参加校は増えているか	△	共催である北海道新聞北見支社の報道部デスクが講師となり、具体的な広報紙作成のコツなどを学びあった。教材として各小中学校のPTA広報紙を使用していることが参加者から好評である。	参加校が固定化しつつあるため、北見市PTA連合会事務局とも連携を図りながら、未参加校への働きかけに努める。	
参加者の知りたい内容となっているか	◎			
参加者の交流は図られているか	◎			
紙面のレベルアップにつながっているか	◎	北見市のPTA広報紙は近年レベルが高く、審査会も毎年激戦である。また、全道コンクールでも全6校が入賞し、次年度への制作意欲につながっている。	市内全校からの参加を促し、コンクールの活性化を図る。	
参加校は増えているか	△			
魅力ある広報紙となっているか	◎			
市民に広く周知されているか	○	国立女性教育会館主催の交流フォーラムへ4人派遣し、研修終了後、北見市の各種活動や審議会等に参画することで、北見のまちづくりに貢献している。	各自治区から平均に派遣することが望ましいことから周知強化が必要である。	
研修終了後の積極的な活動につながっているか	◎			
指導員数が確保されているか	◎	陶芸指導員は、市民学園講座の陶芸講師としても活動されており、研修を実施することにより指導者の技術向上により陶芸受講者への適切な指導及び文化の向上が図られる。	指導員数の確保もなされ、技術向上も図られているため、課題はなし。	
技術の向上が図られているか	◎			

V 社会教育を充実させる学習環境づくりの推進

2. 社会教育推進体制の整備

(4) 各種社会教育ボランティア活動の支援

ボランティアの育成

事業名	事業主旨	H31(R1)実績
ボランティア友の会の育成	ホールボランティアを充実することにより、芸術文化の鑑賞環境を向上し、市民の芸術文化に対する関心を高める。	公演時9回 研修1回
講演会・研修会等グループ活動への各種援助	図書館を拠点として活動している団体に対し、講演会や研修会などグループ活動の支援を行う。	ボランティア 9団体
中央図書館 個人ボランティア制度	中央図書館での個人ボランティア活動を推進する。	個人ボランティア30人
図書館ボランティアの養成	住民参加の図書館づくりと、図書館活動の理解を深めるとともに、サークル団体活動の促進を図る。	読み聞かせ会 12回 図書館まつりボランティア 18人
図書館友の会活動支援	図書館活動を充実するため、図書館友の会の活動を支援する。	1回
読み聞かせの会・ 手作りの会活動支援	図書館を拠点として活動している団体に対し、活動場所の提供等を行う。	ボランティア1団体 活動日・毎週火曜日

チェック項目		事業の成果	事業の課題	担当課
団体活動が活性化しているか	◎	多くのホールボランティア経験と独自の研修により、メンバーのホール運営サポート能力が向上し、観客の満足度は高い。	観客の満足度は高いことから、特に課題はなし。	中央公民館
日常的にグループとの連携は図られているか	◎	各団体との連携を図りながら事業開催のPR等に協力した。	今後もボランティア団体、活動支援を行っていく必要がある。	中央図書館
事業開催のための情報提供や広報等の支援が図られているか	◎			
活動や養成等の支援が図られているか	◎			
個人ボランティアとの連携は図られているか	◎	研修会や意見交換等を行い積極的に活動してもらった。	活動の支援と養成を行う。	
活動や養成等の支援が図られているか	◎			
団体との連携は図られているか	◎	ボランティア団体による読み聞かせ会を毎月1回開催した。図書館まつりへのボランティア協力など住民が参加協力できる事業を開催、サークル団体活動の促進を図った。	今後も住民が参加できる図書館活動について検討を進める。	端野図書館
活動や養成等の支援が図られているか	○			
友の会の活動に反映されているか	○	図書館まつりに参加協力いただいた	新規会員の獲得	
友の会活動の主体性は確保されているか	○			
利用者団体の満足は得られているか	○	積極的に活動しているので図書館のPRにつながっている	今後も更に活発に活動できるようできる限りの支援を行う	留辺薬図書館
団体の活動が図書館利用者の満足を得られることにつながっているか	○			

V 社会教育を充実させる学習環境づくりの推進

2. 社会教育推進体制の整備

(5) 社会教育推進体制強化のための関係団体との協働

大学、公共機関及び民間企業等と協働した体制強化

事業名	事業主旨	H31(R1)実績
公共ホールネットワークの推進	道内公共ホール等のネットワーク化を推進し、相互の情報交換、研修を行い地域住民への情報提供と事業内容の充実を図る。	2回開催
北見地域図書館ネットワーク	北見地域の図書館による資料の相互貸借、レファレンス業務の協力など広域での協力体制を推進する。	総会1回
学校図書館協会との連携	児童・生徒読書感想文コンクールの実施の他、学校図書館協会との連携を図る。	4校、12回

チェック項目		事業の成果	事業の課題	担当課
近隣市町村と情報交換、研究を行い事業内容の向上が図られているか	◎	会議を通じ事業調整及び情報共有することにより、遠方から来る団体の多額の経費の按分や、開催場所が近すぎないように調整することができている。	未加入の団体があるので、勧誘を進めなければならない。	中央公民館
1市7町の相互貸借・業務の協力が図られているか	◎	相互貸借等、円滑な協力体制の推進を図った。	今後も、協力体制を継続する。	中央図書館
常に協力体制の改善が図られているか	◎			
連携を図り支援しているか	◎	申込のあった学校図書館を訪問し、現状と課題を聞き取り図書館整備を図った。	希望する学校を積極的に受け入れるなど、継続して連携を図っていく。	
学校図書館に広く周知されているか	◎			